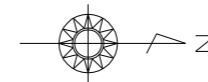
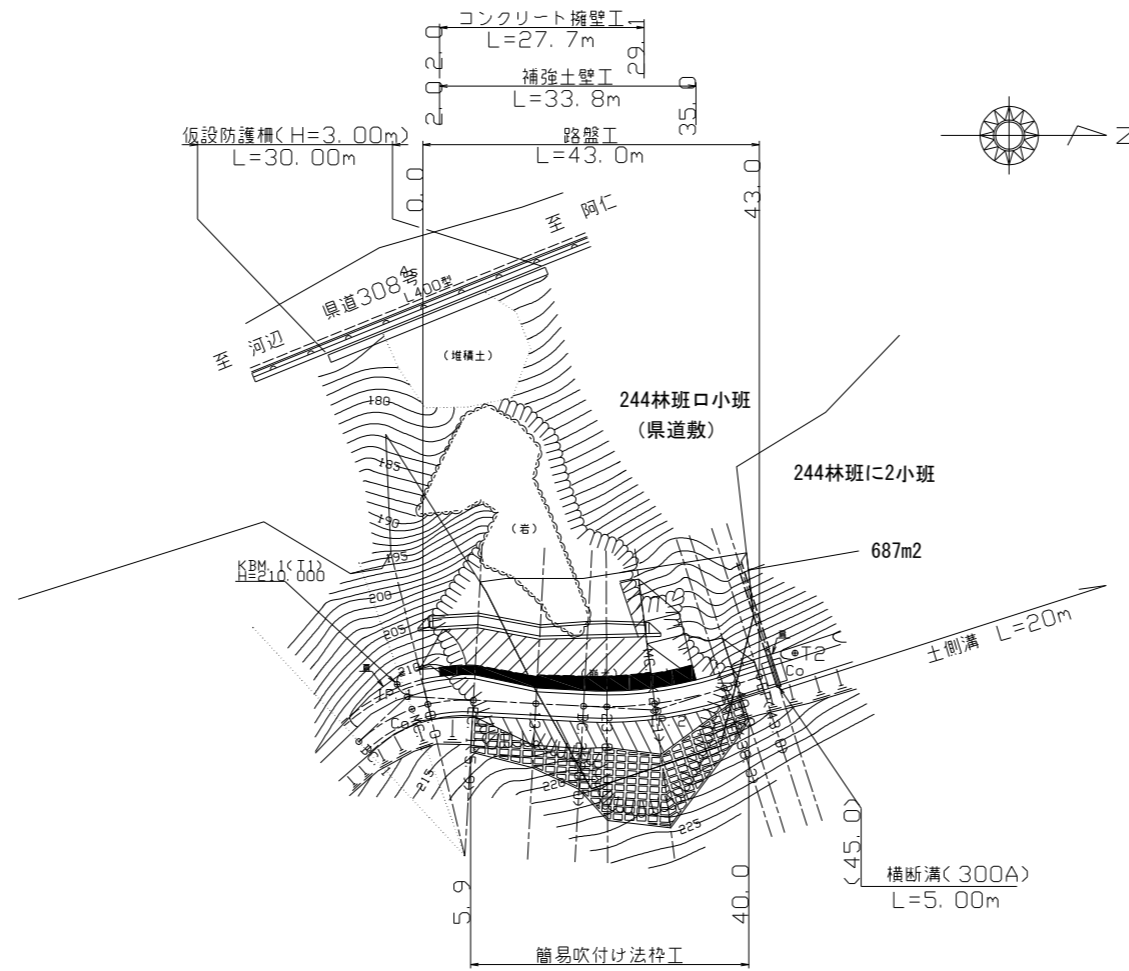


# 財の神林道 2号

点名	X座標	Y座標
T1	191.282	198.147
T2	242.232	194.150



曲線諸数値表

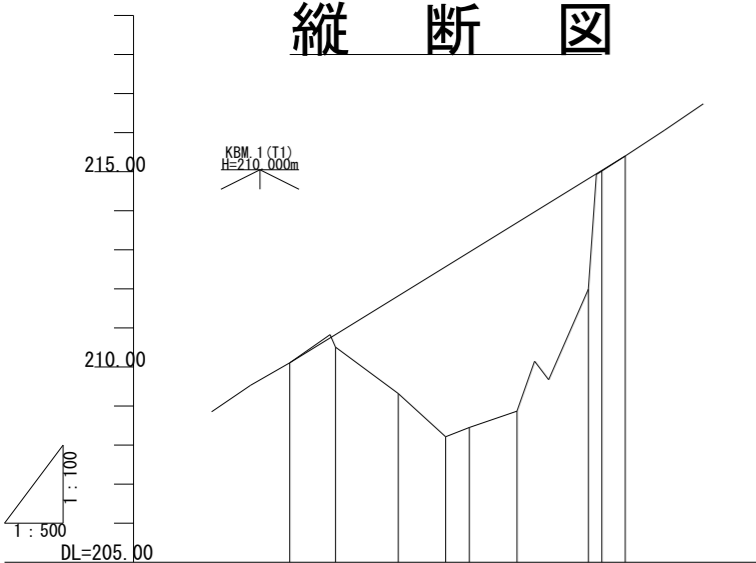
IP NO	D	A	IA		R	T	L	S	L	C	L	B	C	M	C	E	C	IP	D	
			L	R																
0	0																			0
1	8.5	226°00'		46°00'	20	8.5	1.7	16.1	-10.2	-2.1	5.9	-1.7								-1.7
2	31.8	159°05'	20°55'		50	9.2	0.8	18.3	20.0	29.1	38.3	29.2								29.2
E.P.	14.0																			

凡例

計画線	交角点	起点・終点	既設道路	擁壁	等高線	河川・細流	広葉樹林	水準基標	崩土	法面	永久橋

図名	平面図 1/1
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	1:500

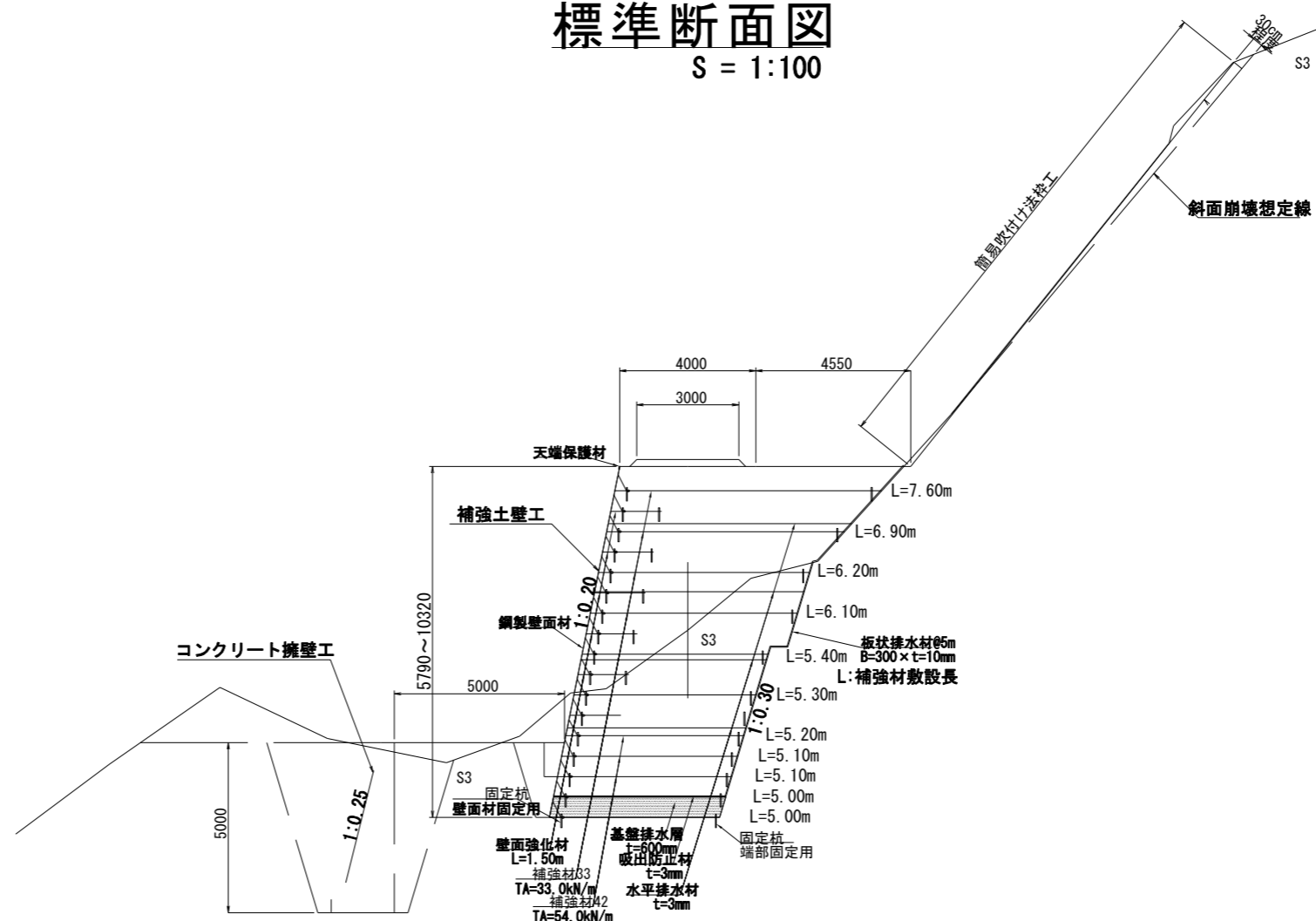
# 縦断図



勾配	210.11 → 210.11 → 210.84 → 211.82 → 212.57 → 212.94 → 213.69 → 214.82 → 215.03 → 215.40									
盛土高	0.33	2.50	4.36	4.49	4.82	2.83	0.01			
切土高										
計画高	210.11	210.84	211.82	212.57	212.94	213.69	214.82	215.03	215.40	
地盤高	210.11	210.51	209.32	208.21	208.45	208.87	211.99	215.02	215.40	
追加距離	0.0	5.9	13.9	20.0	23.0	29.1	38.3	40.0	43.0	
単距離	0.0	5.9	8.0	6.1	3.0	6.1	9.2	1.7	3.0	
測点	0.0	EC.1 (6.9)	13.9	BC.2 (20.0)	23.0	MC.2 (29.1)	EC.2 (38.3)	40.0	EP (43.0)	
平面線形	IP.1 R=20 → IP.2 R=50									

# 標準断面図

S = 1:100

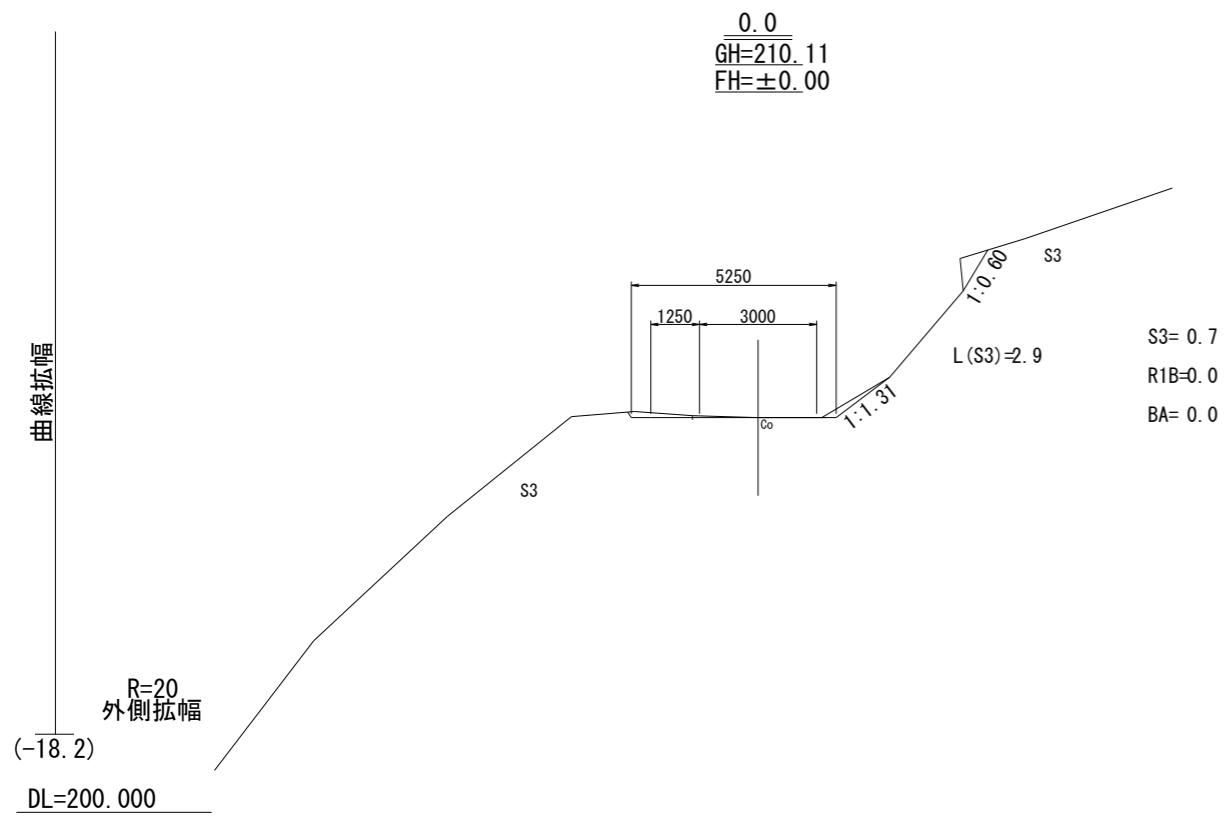


# 財の神林道 2号

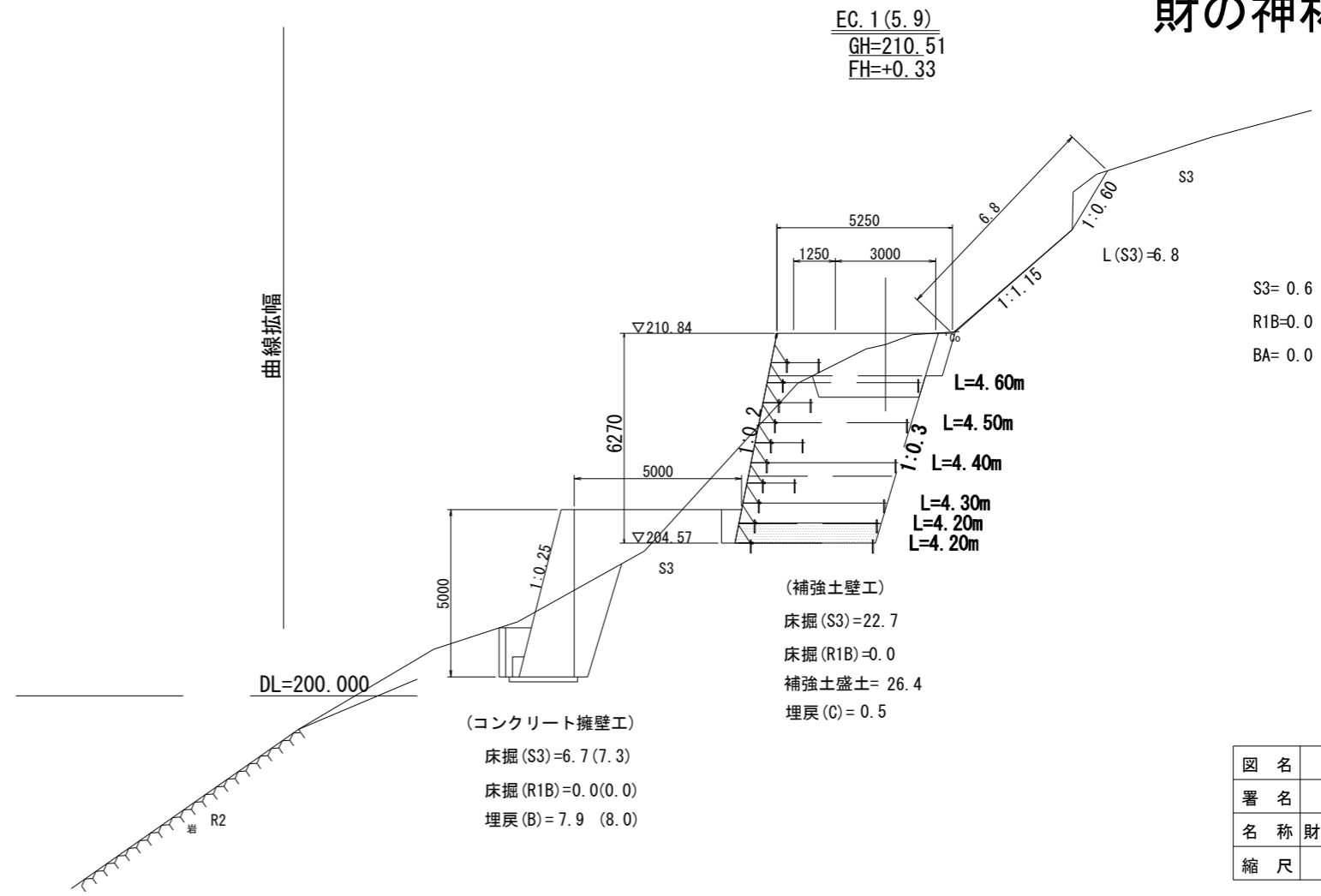
名称	財の神林道(2号)
種類	自動車2級
延長	L=43.0m
全幅員	W=3.80m
勾配	最急 12.30%
	最緩 12.30%
配平均	12.30%
最小半径	R=20m

図名	縦断図・標準断面図
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	図示

# 財の神林道 2号



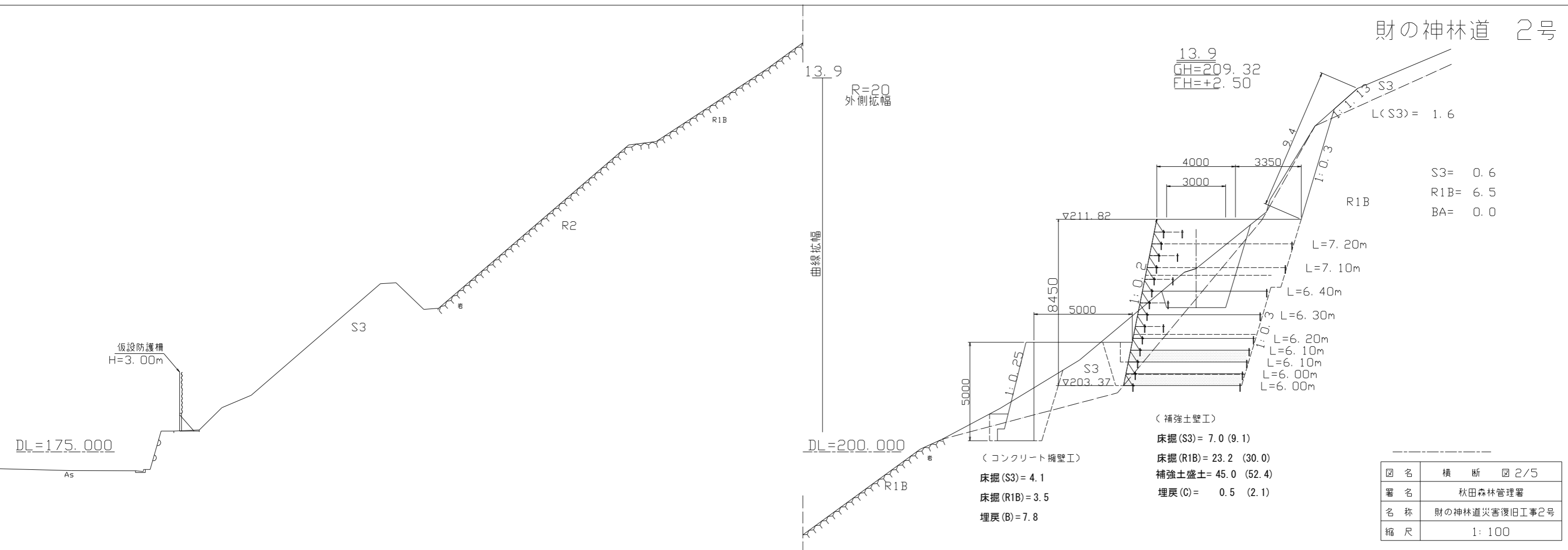
S3= 0.7  
R1B=0.0  
BA= 0.0



S3= 0.6  
R1B=0.0  
BA= 0.0

図名	横断図 1/5
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	1:100

財の神林道 2号



図名	横断図 2/5
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	1:100

財の神林道 2号

BC. 2(20.0)  
GH=208.21  
FH=+4.36

23.0  
GH=208.45  
FH=+4.49

(コンクリート擁壁工)  
床掘(S3)=9.0  
床掘(R1B)=0.0  
埋戻(B)=12.9

(コンクリート擁壁工)  
床掘(S3)=6.8  
床掘(R1B)=0.0  
埋戻(B)=15.6

(補強土壁工)  
床掘(S3)=24.8  
床掘(R1B)=0.0  
補強土盛土=60.7  
埋戻(C)=0.7

(補強土壁工)  
床掘(S3)=6.0  
床掘(R1B)=22.8  
補強土盛土=57.9  
埋戻(C)=1.0

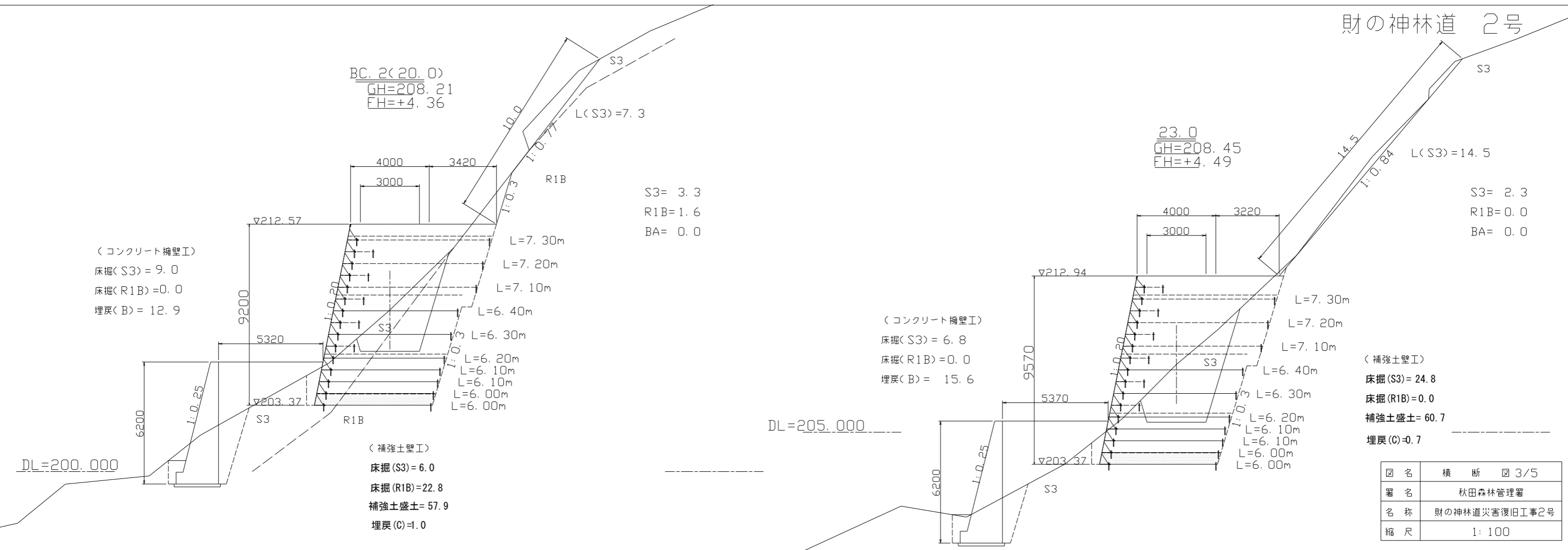
S3= 3.3  
R1B= 1.6  
BA= 0.0

S3= 2.3  
R1B= 0.0  
BA= 0.0

DL=205.000

DL=200.000

図名	横断図 3/5
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	1:100



財の神林道 2号

EC. 2 (38. 3)  
GH=211. 99  
FH=+2. 83

MC. 2 (29. 1)  
GH=208. 87  
FH=+4. 82

(コンクリート擁壁工)  
床掘(S3)= 24. 7 (18. 7)  
床掘(R1B)= 0. 0 (0. 0)  
埋戻(B)= 15. 8 (14. 9)

(補強土壁工)  
床掘(S3)= 21. 8 (12. 9)  
床掘(R1B)= 0. 0 (0. 0)  
補強土盛土= 66. 8 (59. 5)  
埋戻(C)=2. 1 (0. 5)

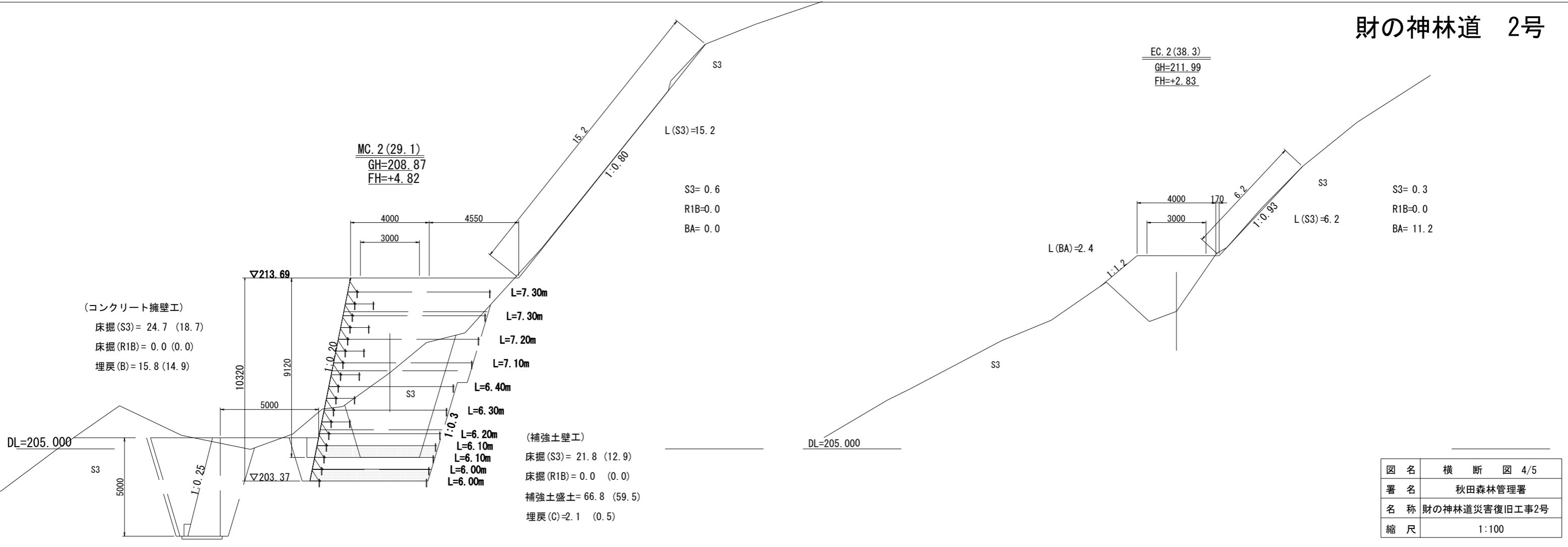
S3= 0. 3  
R1B=0. 0  
BA= 11. 2

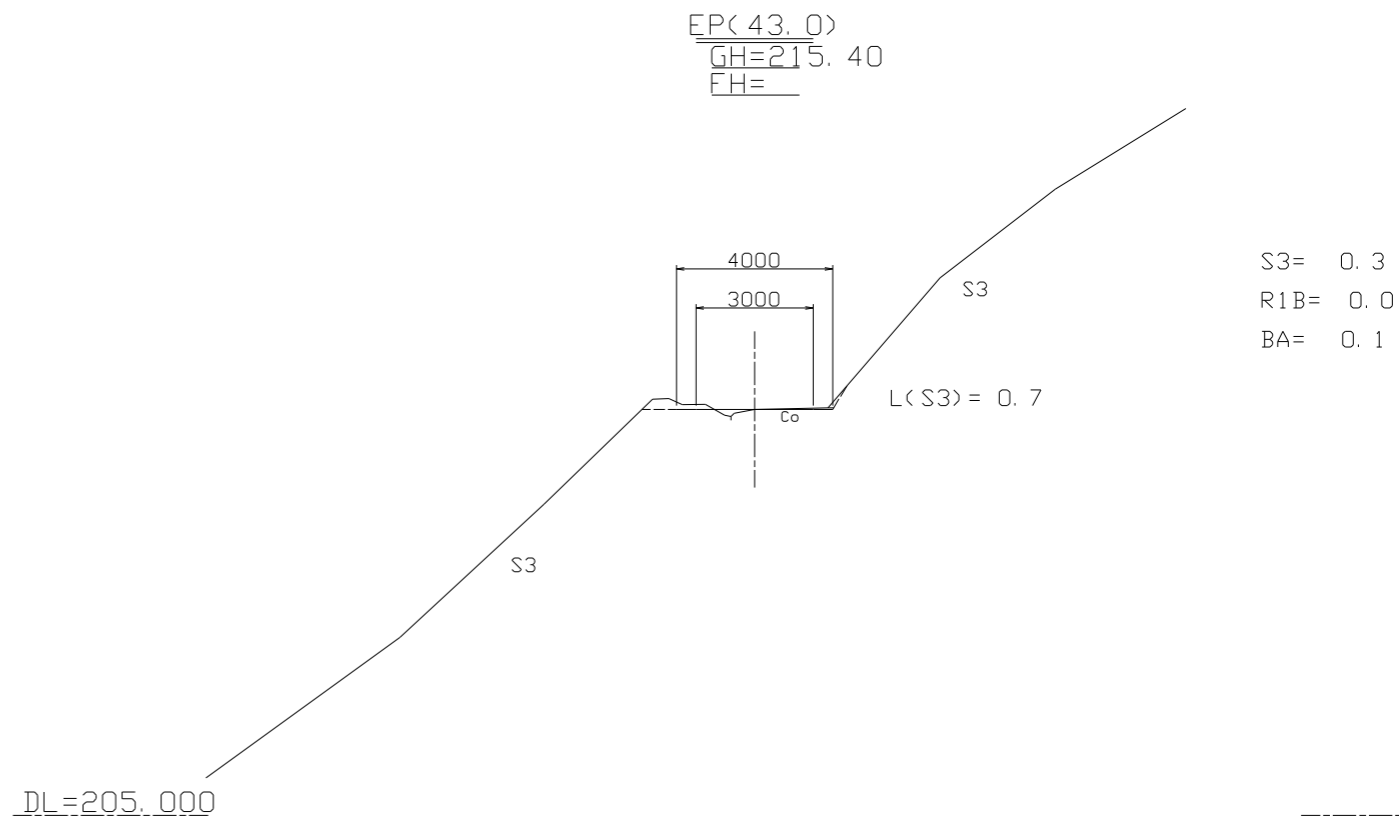
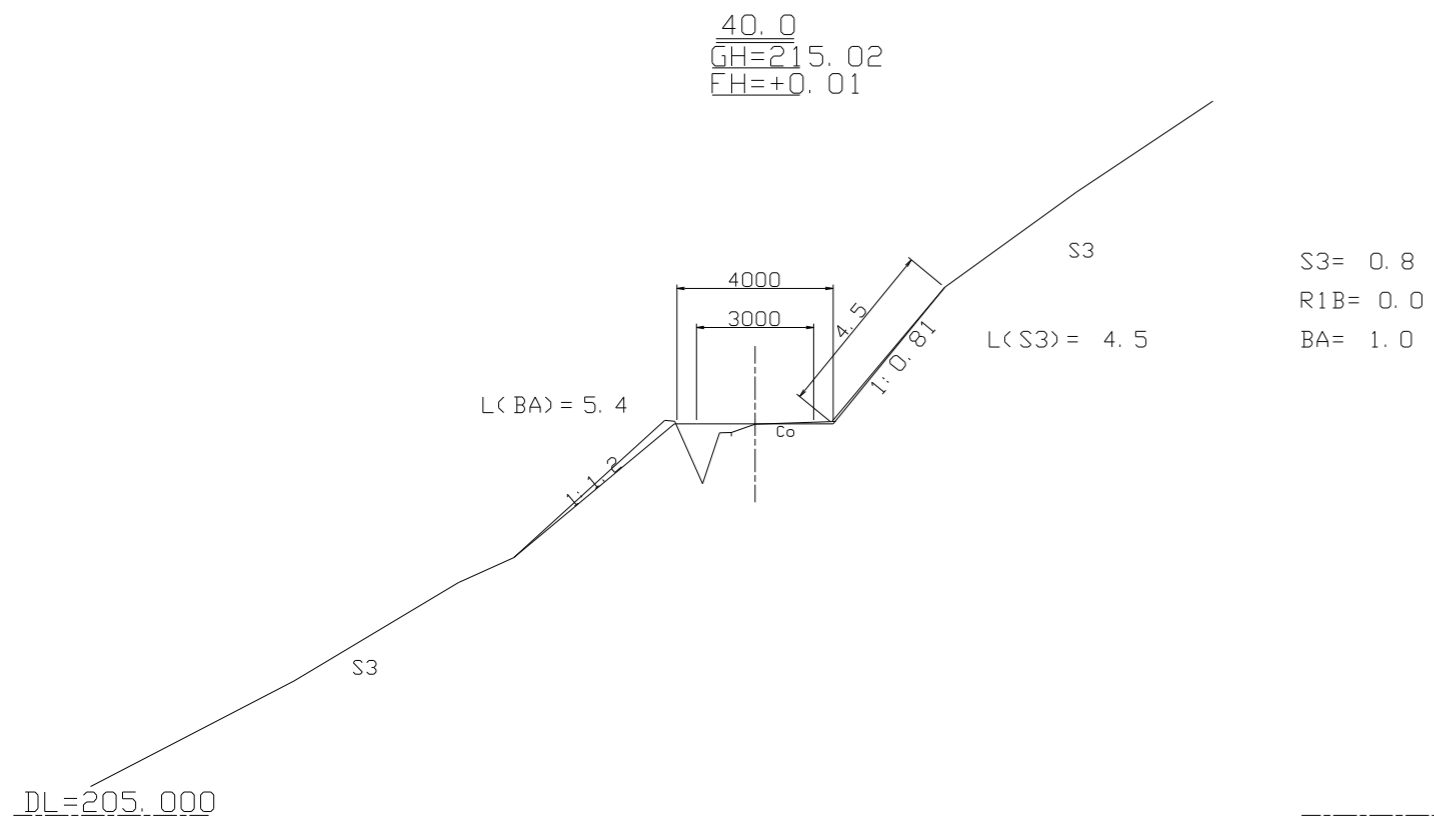
S3  
L(S3)=15. 2  
S3= 0. 6  
R1B=0. 0  
BA= 0. 0

L(BA)=2. 4

S3  
L(S3)=6. 2

図名	横断図 4/5
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	1:100

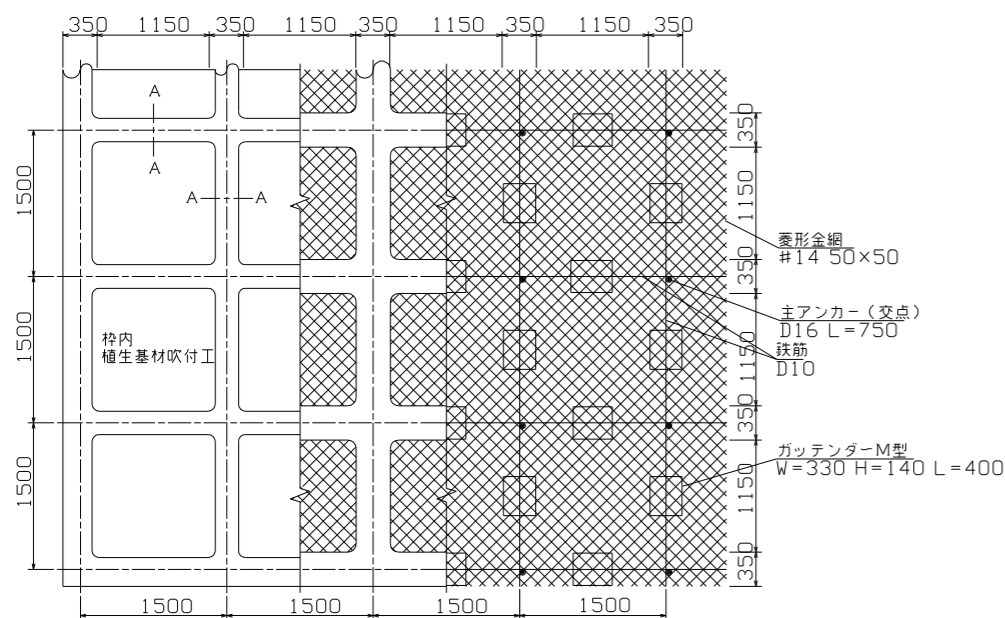




図名	横断図 5/5
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	1:100

簡易吹付法枠工構造図  
(ソイルクリート工 Mタイプ1500)

標準展開図=1:40

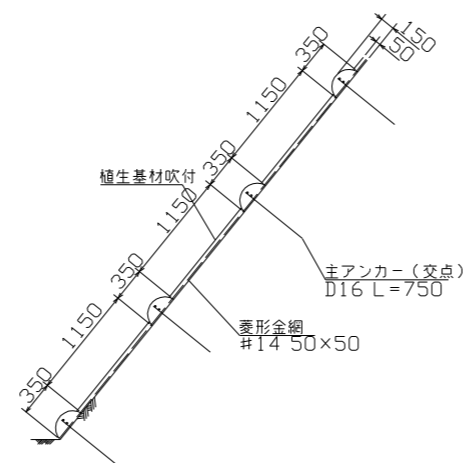


使用材料表

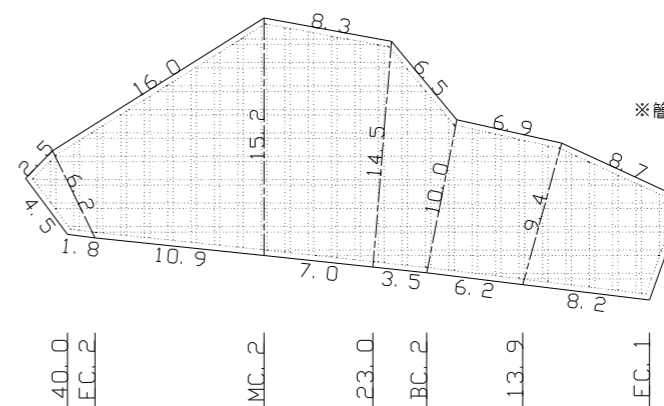
ソイルクリート工 Mタイプ1500  
枠内植生基材吹付工 t=5cm

材料名	規格	単位	数量	割増率
菱形金網	#14 50x50	m <sup>2</sup>	140.0	40%
アンカー	φ16 L=400	本	30	
補助アンカー	φ9 L=200	本	150	
鉄筋	D10	kg	188.8	17%
主アンカー(交点)	D16 L=750	本	52	
組立枠	ガッテンダーM型 W=330 H=140 L=400	個	94	
枠用シート	Mタイプ1500用	枚	42.3	
枠吹付		m <sup>3</sup>	5.27	
セメント	普通ポルトランドセメント	kg	2943.8	33%
モルタル	NAF-6 共重合ガラ型アラミド繊維	kg	7.0	33%
砂		m <sup>3</sup>	8.7	33%
枠内植生基材吹付	t=5cm	m <sup>2</sup>	55.9	
生基材	ソイルファクター	L	7220.0	29%
基材	ベースソイラー	kg	25.3	29%

標準断面図=1:40

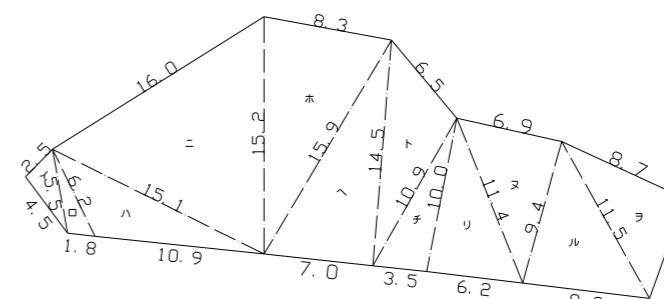


簡易吹付法枠工展開図: 250

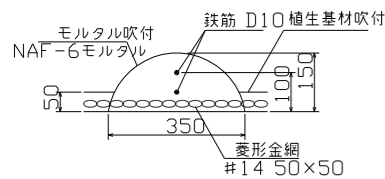


※簡易吹付法枠工展開図は、面積算定のため斜長を基に投影した。よって、法枠は現場形状に合わせて適切に施工すること。

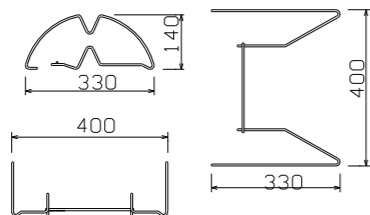
求積図 S=1:250



A-A断面 S=1:10



ガッテンダーM型部材模式図 S=1:10



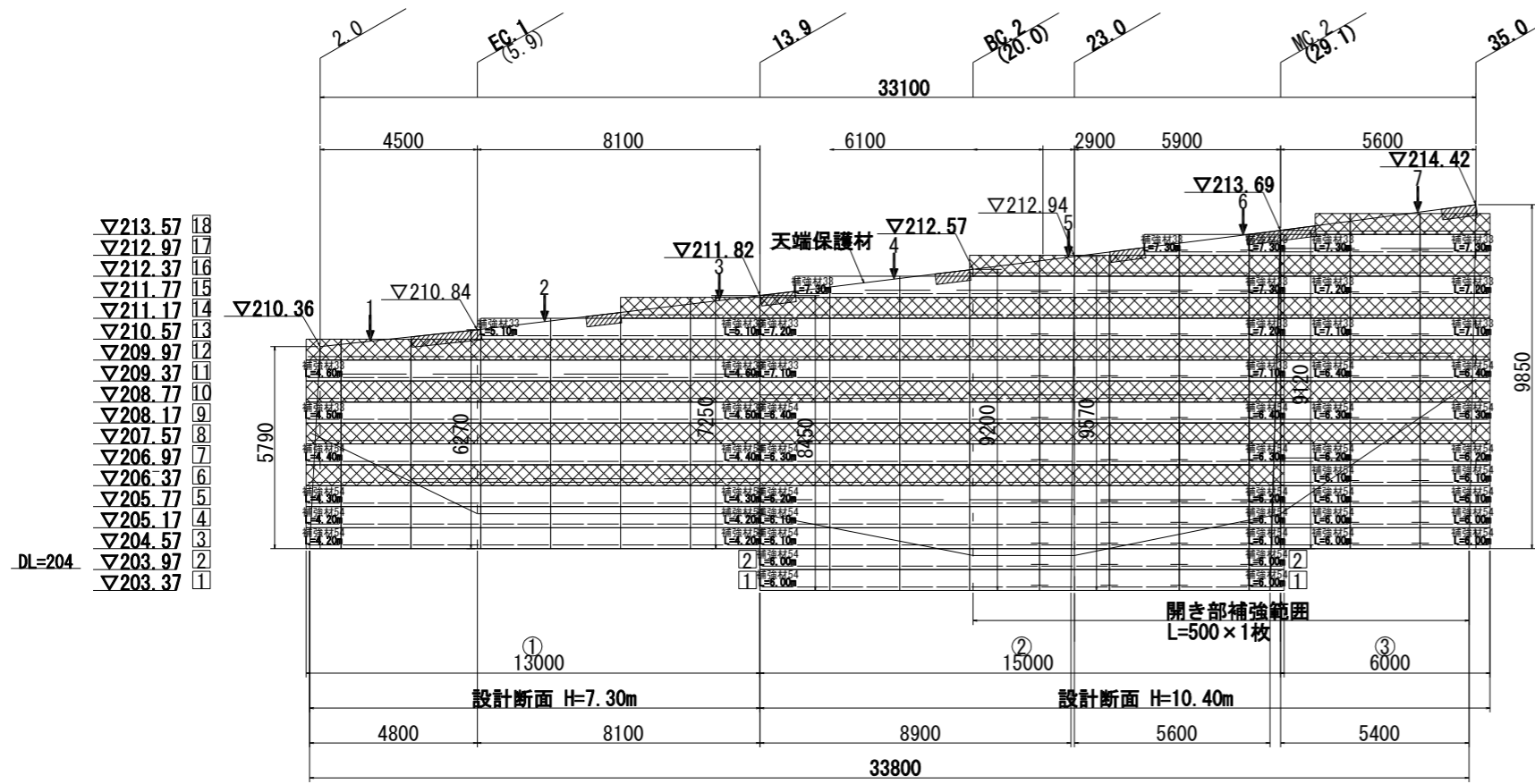
図名	簡易吹付法枠工構造図 1/1
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	図示



# 補強土壁工詳細図 1/2

財の神林道 2号

補強土壁工展開図  
S=1:100



- 18 ▽213.57
- 17 ▽212.97
- 16 ▽212.37
- 15 ▽211.77
- 14 ▽211.17
- 13 ▽210.57
- 12 ▽209.97
- 11 ▽209.37
- 10 ▽208.77
- 9 ▽208.17
- 8 ▽207.57
- 7 ▽206.97
- 6 ▽206.37
- 5 ▽205.77
- 4 ▽205.17
- 3 ▽204.57
- 2 ▽203.97
- 1 ▽203.37

凡例

名称	記号	備考
補強材3ジオグリッド	H3	引張強度 TA=33.0kN/m
補強材5ジオグリッド	H5	引張強度 TA=54.0kN/m
壁面強化脚ジオグリッド	H	L=1.50m, 幅 1.00m
鋼製壁面材 (標準品)		鋼製壁面 (2000x600)
鋼製壁面材 (半尺品)		鋼製壁面 (1000x600)
天端調整用平板		鋼製壁面 (2000x300)
水平排水材		ポリエステル不織布 (t=3mm)
板状排水材設置位置	↓	
施工区間	○	
施工段 (層)	□	
補強材敷設長	L=	幅 1.00m
設計断面 補強高	H=	

設計条件

盛土材土質定数	
単位体積重量 (γ)	19.0 kN/m <sup>3</sup>
粘着力 (C)	0.0 kN/m <sup>2</sup>
内部摩擦角 (φ)	30.0 °

- 特記事項
- 設計条件は、補強土壁安定計算における設計条件である。
  - 補強土壁基礎地盤の支持力確認を行うこと。  
設計条件としての地盤の必要支保力 $q^*$ は、 $q^* = \dots$  kN/m<sup>2</sup>である。
  - 地山部及び掘削背面等に異常な湧水(設計図に示されていない排水対策外)が見られる場合は、別途対策を検討する必要がある。
  - 補強土壁底部部の最小根入れ深さは、原則として50cm以上確保してあるが、実施前において必ず壁面位置における現地盤線及び、基礎地盤線の確認を行うこと。
  - 土の撤き出し、締固め時の留意点
    - 締固め管理において、乾燥密度によって管理を行う場合は、最大乾燥密度の95%以上に締固める事。
    - 壁面付近の作業では壁面の前倒れや変形が生じないように注意して施工する事。
  - ジオグリッドと鋼製壁面材の接続部分については、その接続強度がジオグリッド引張強度の40%以上を確保されているものを用いる事。
  - ジオグリッド同士の間を連結を行う際は、その連結強度がジオグリッド引張強度の100%以上を確保されているものを用いる事。
  - その他の留意点  
「ジオテキスタイルを用いた補強土の設計・施工マニュアル 第二回改訂版」(平成25年12月)を参照する事。

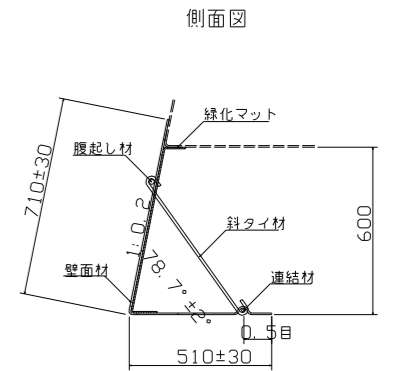
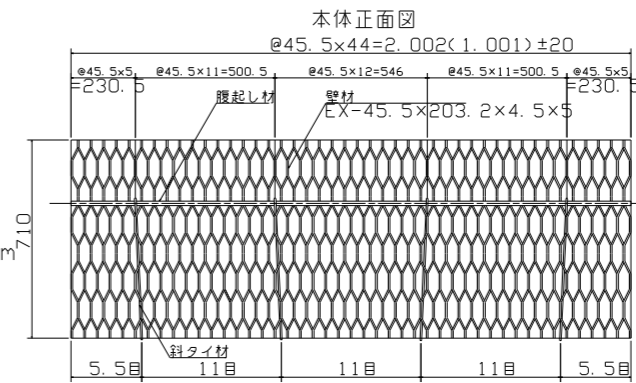
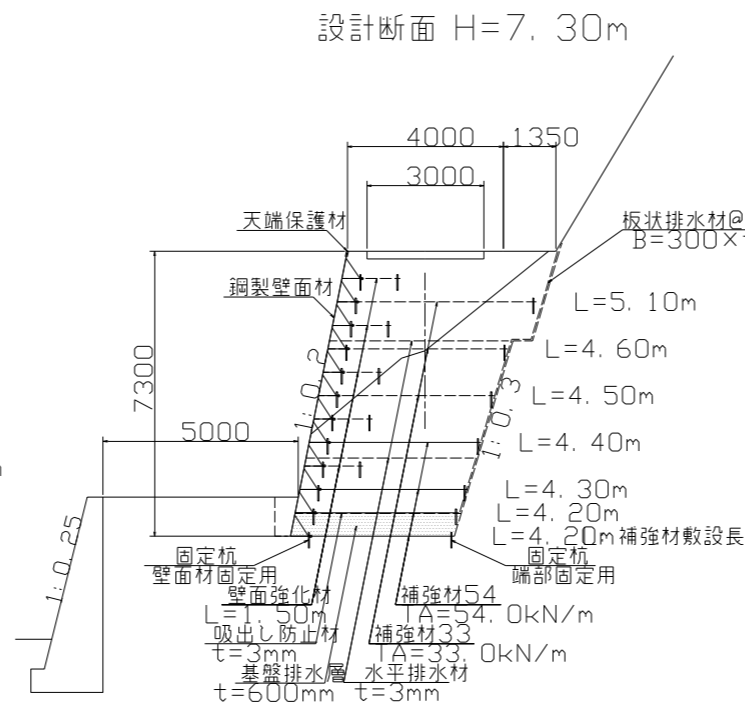
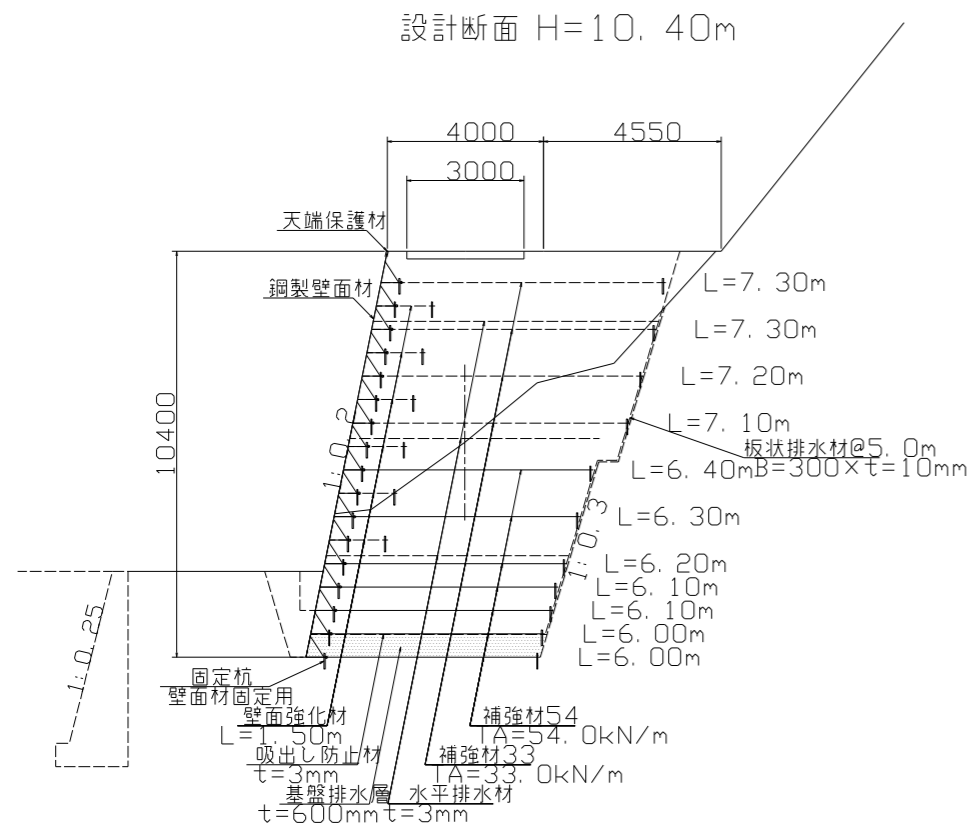
図名	補強土壁工詳細図 1/2
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	図示

# 補強土壁工詳細図 2/2

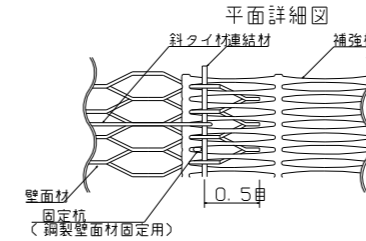
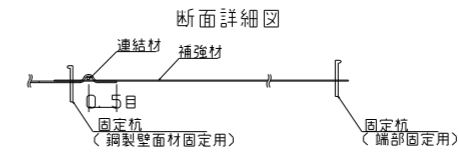
財の神林道 2号

標準断面図  
S=1:100

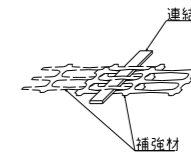
補強土壁面部詳細図



連結部詳細図



補強材連結部詳細図

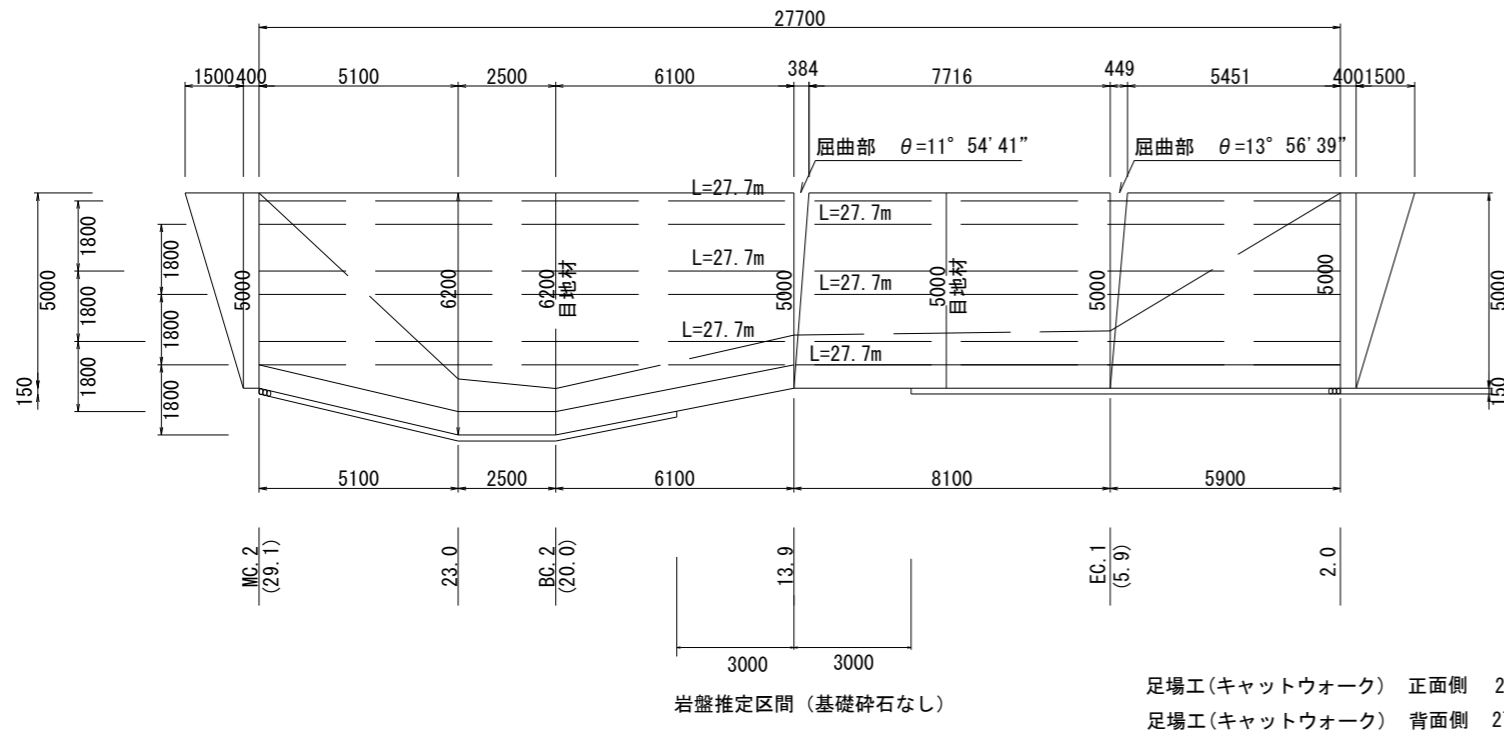


図名	補強土壁工詳細図 2/2
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	図示

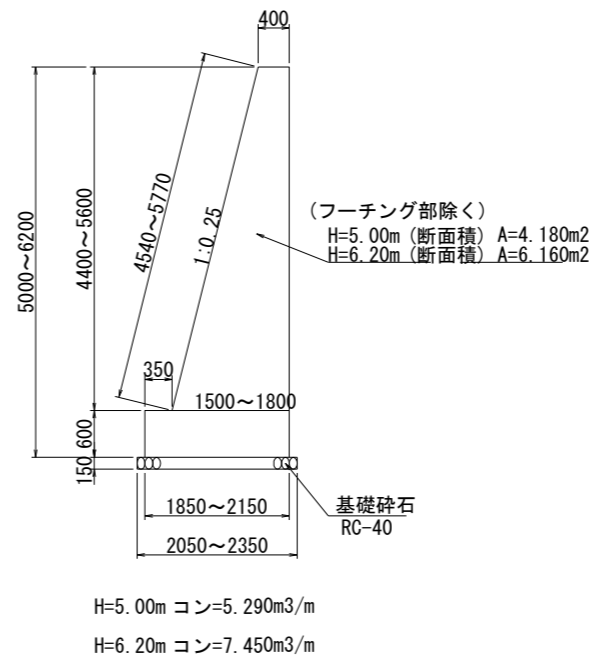
# コンクリート擁壁工詳細図

財の神林道 2号

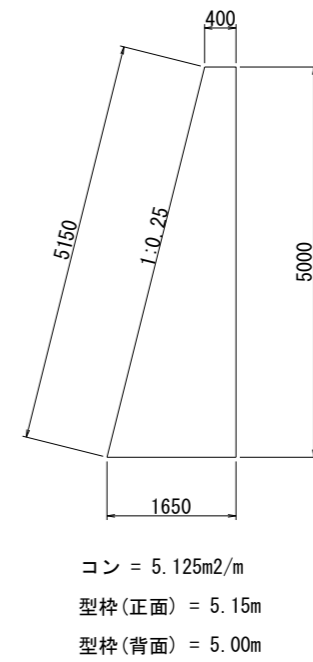
展開図  
S=1:100



標準断面図  
S=1:50



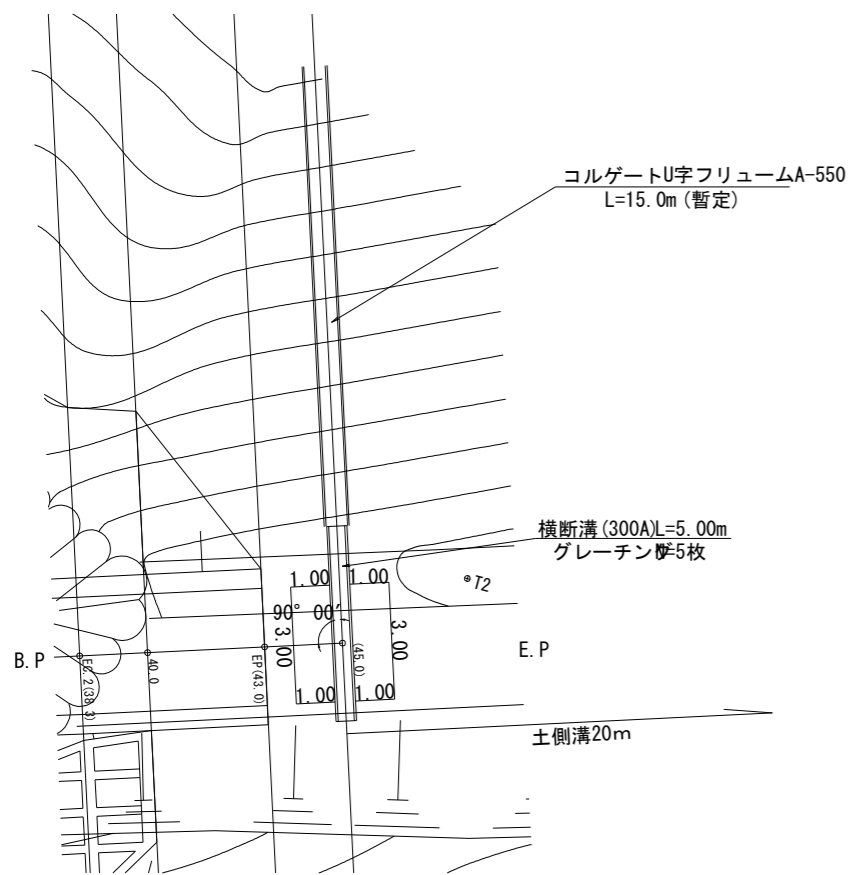
小口止コンクリート  
(t=40cm) S=1:50



小口止め・端部止めコンクリート (1箇所当り)  
 コン=(1.50\*5.00)/6\*(2\*0.40+1.65)+(5.125\*0.40)=5.11m<sup>3</sup>  
 型枠=((5.15+5.00)\*1.5/2)+(5.15+5.00)\*0.4=11.67m<sup>2</sup>

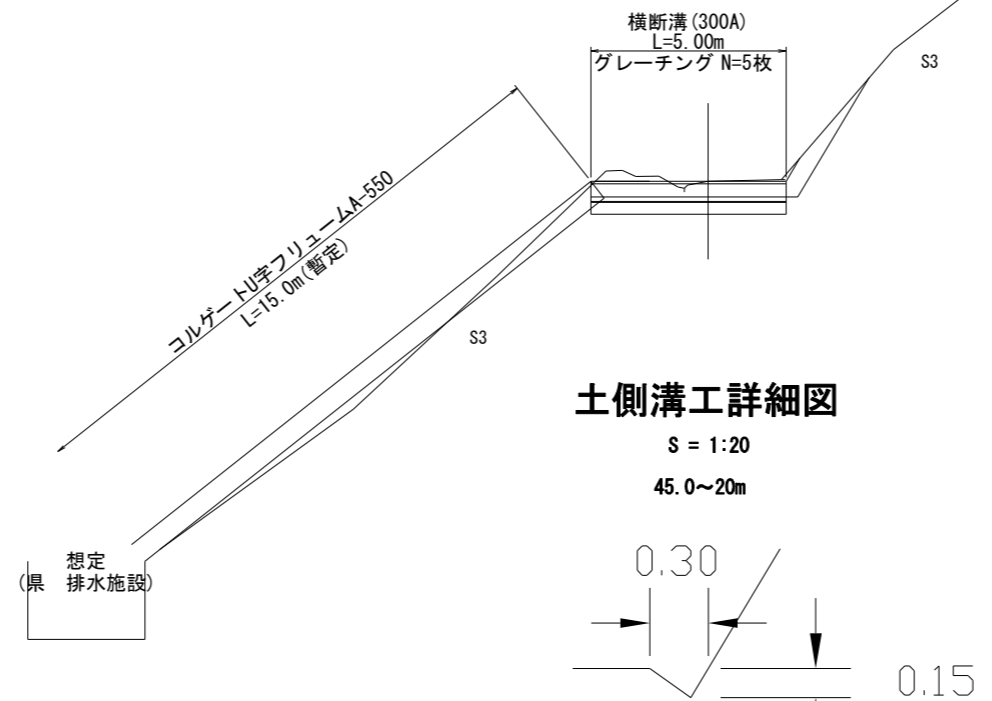
図名	コンクリート擁壁工詳細図
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	図示

平面図  
S = 1:100

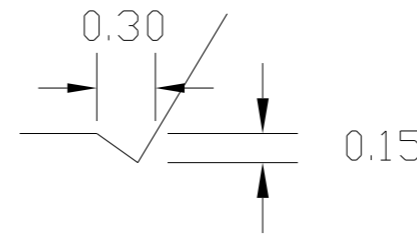


排水構造物工詳細図  
鉄筋コンクリート側溝300A(45.0)

側面図  
S = 1:100

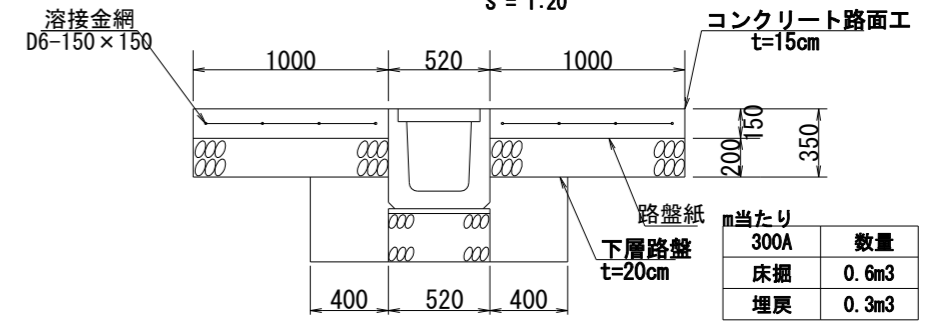


土側溝工詳細図  
S = 1:20  
45.0~20m

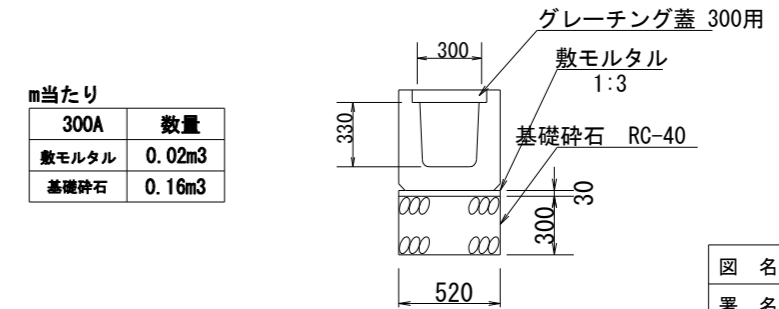


財の神林道 2号

横断溝布設断面  
S = 1:20

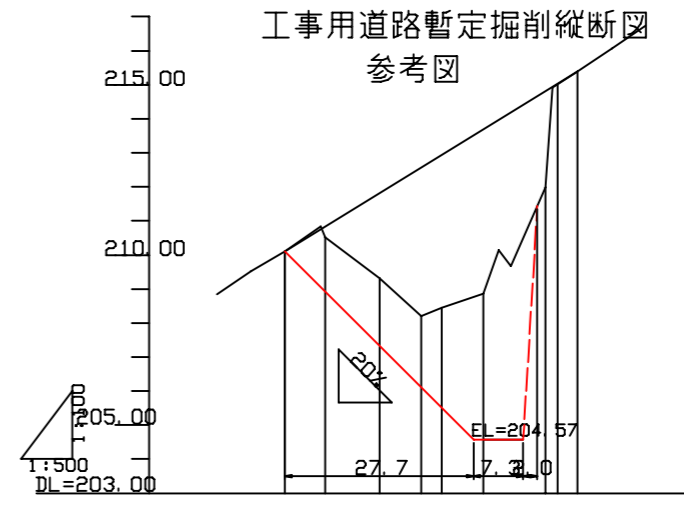
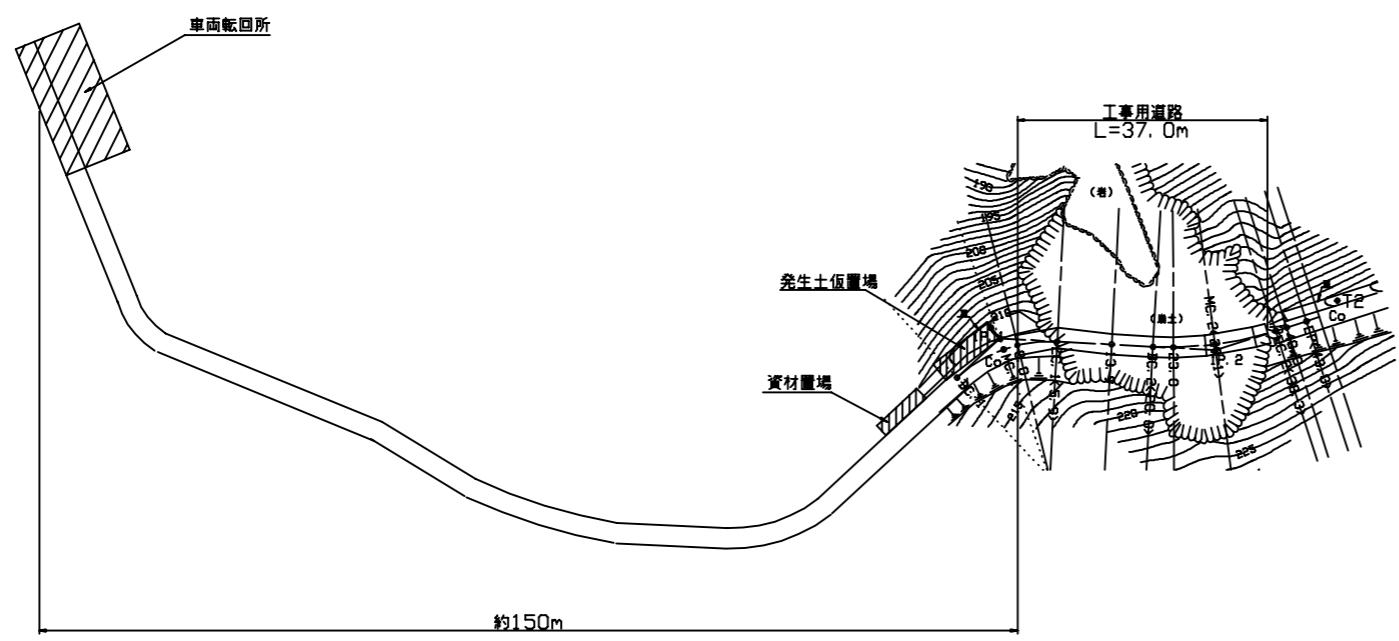


鉄筋コンクリートU型側溝  
300A(横断用) S = 1:20



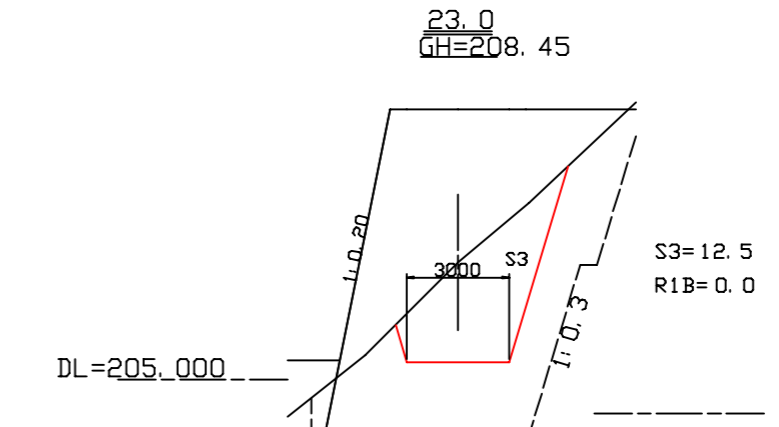
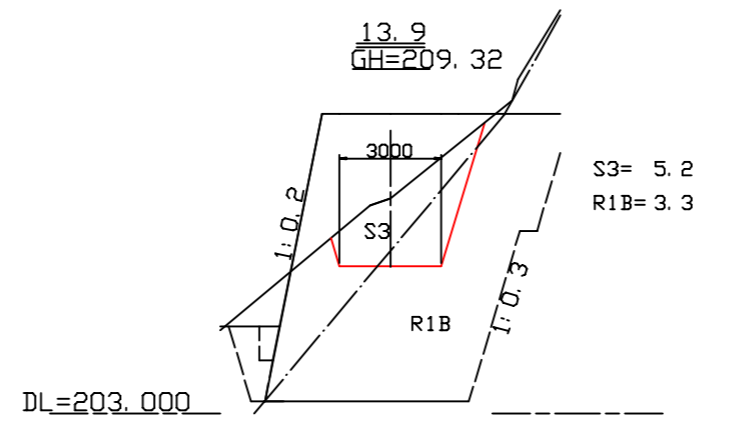
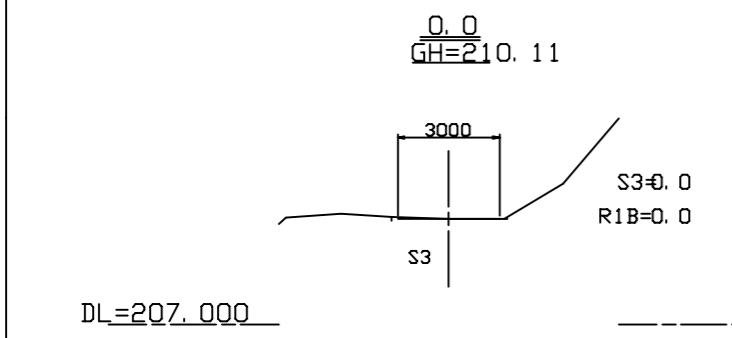
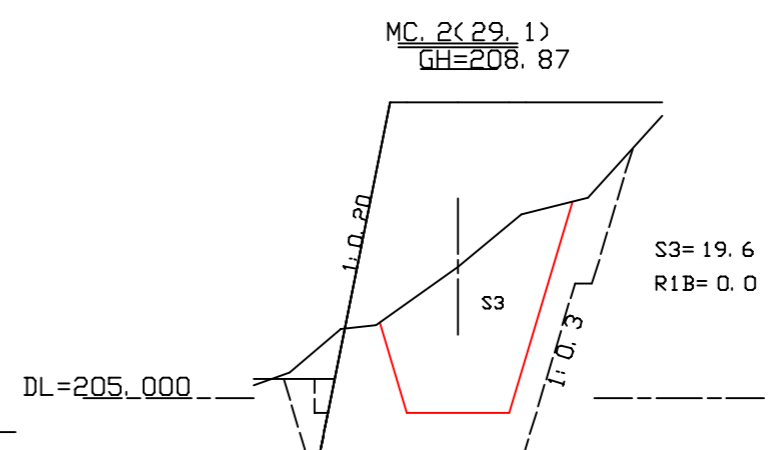
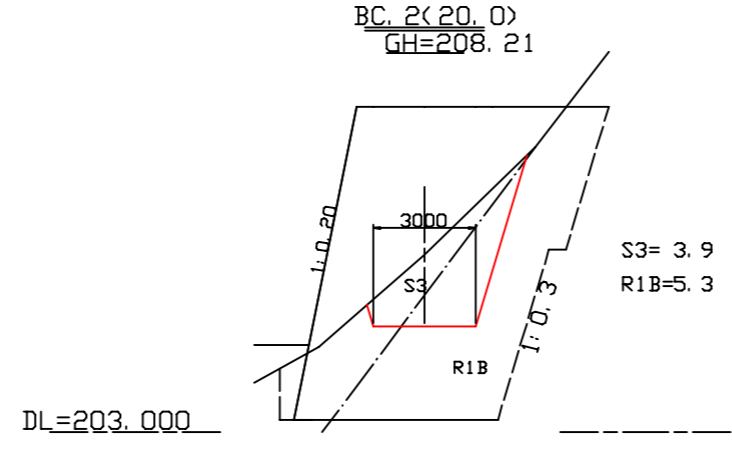
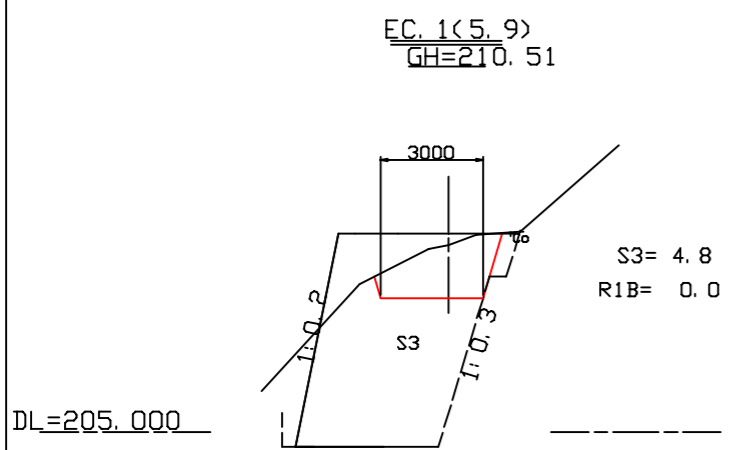
図名	排水構造物工詳細図
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	図示

作業仕組図 (参考図)  
平面図 S=1:500



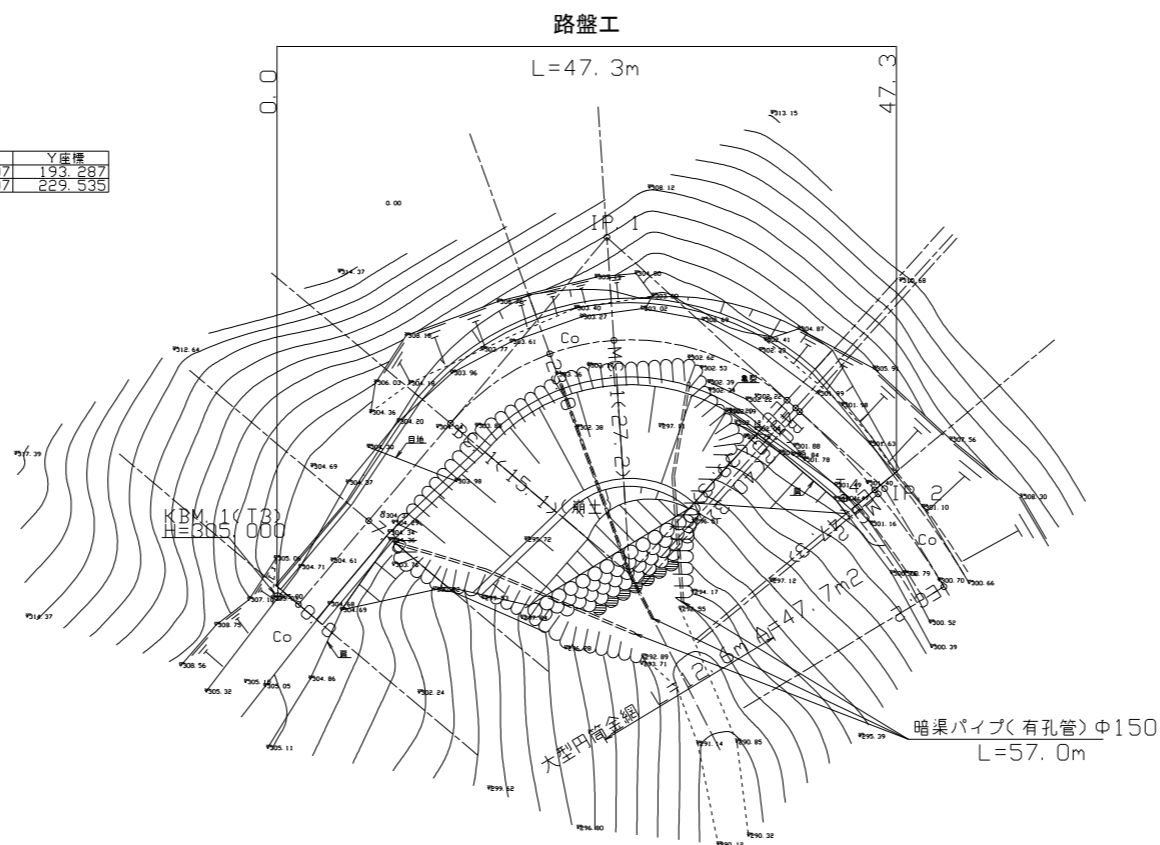
勾配	
盛土高	
切土高	
計面高	
地盤高	0.0 0.0 0.0 0.11
追加距離	EL: 5.9 5.2 0.51
単距離	13.98 0.32 09.32
測点	PE: 0 0 0 0.21
平面線形	23.03 0.32 06.45
曲率	MG: 0.6 12.92 06.87
	EC: 0.9 0.8 2.1 3.3
	40.01 7.02 06.02
	EL: 0.3 0.32 06.40
	EL: 4.3 0.3
平面線形	R=20 <sup>IP 1</sup> R=50 <sup>IP 2</sup>

図名	作業仕組図(参考)
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事
縮尺	図示



図名	工事用道路横断面図(参考)
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事2号
縮尺	1:100

点名	X座標	Y座標
T3	494.807	193.287
T4	501.107	229.533



曲線諸数値表

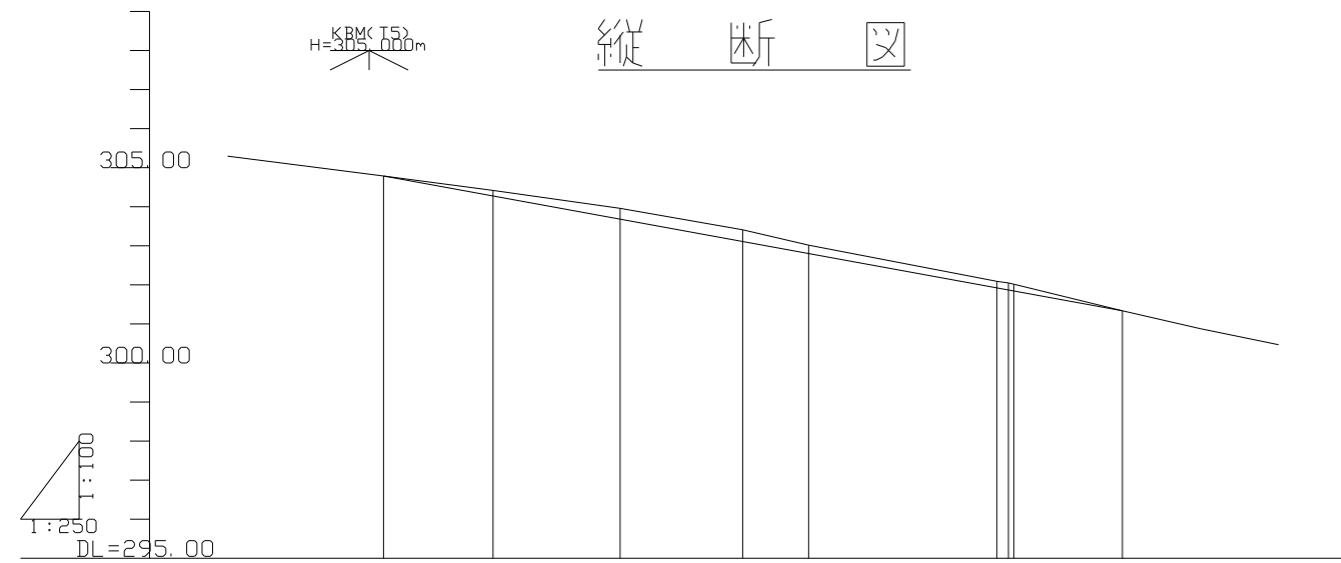
IP NO	D	A	IA		R	T.L	S.L	C.L	B.C	M.C	E.C	IP.D
			L	R								
0	0											0
1	30.7	227°07'		92°07'	15	15.6	6.6	24.1	15	27.2	39.3	30.7
2	24.0	196°43'		16°43'	50	7.3	0.5	14.6	40.3	47.6	54.9	47.6
ECC2	7.3											

凡例

計測線	交差点	起点・終点	既設道路	橋	トンネル	暗渠	排水	溝	土留	法面	永久橋		

図名	平面図 1/1
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事3号
縮尺	1:250

縦断図

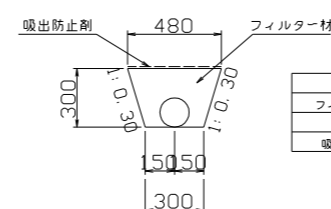


勾配	304.79											1:27.29% L=47.30											301.34										
盛土高	0.0											0.14											0.27										
切土高	0.0											0.14											0.27										
計画高	304.79											304.28											303.69										
地盤高	304.79											304.42											303.69										
追加距離	0.0											7.0											8.1										
単距離	0.0											7.0											7.9										
測点	0.0											7.0											8.1										
平面線形図	IP.1 R=15											MC.1 (E17.2)											EP.2 R=50										

標準断面図  
S = 1: 100

名称	財の神林道(3号)
種類	自動車2級
延長	L=47.3m
全幅員	W=3.80m
勾配	最急 7.29%
	最緩 7.29%
配	平均 7.29%
最小半径	R=15m

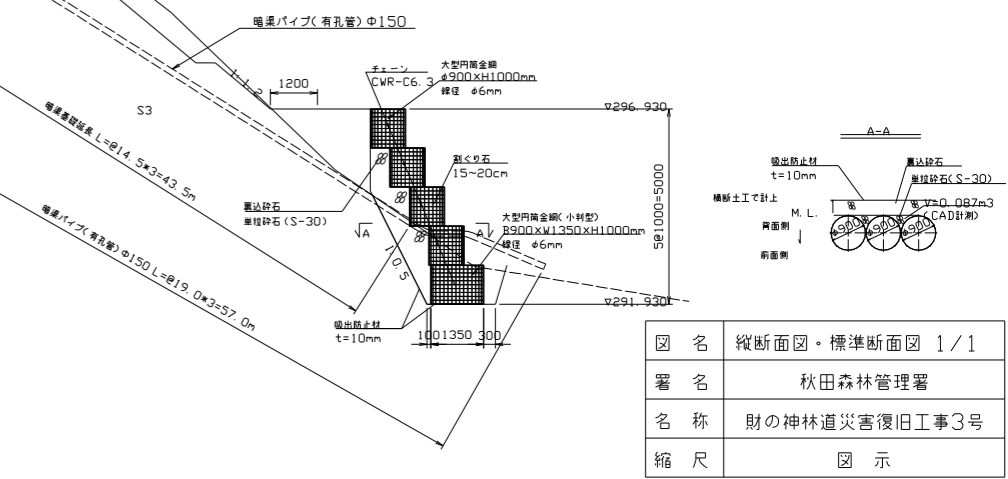
暗渠排水材(有孔管φ=150mm)  
S=1: 20



名称	単位	数量
フィルター材	m <sup>3</sup>	0.10
床層	m <sup>3</sup>	0.12
吸出防止剤	m <sup>2</sup>	0.48

設計条件	
背面土土質定数	
土の単位体積重量	$\gamma_t = 20.0 \text{ kN/m}^3$
土の内部摩擦角	$\phi = 35^\circ$
土の粘着力	$c = 0.1 \text{ kN/m}^2$
活荷重	$q = 10.0 \text{ kN/m}^2$
安全率	$F_s \geq 1.5$
滑動	偏心距離 $cd > B/2$
転倒	(底面幅: Bの1/2より後方)
底面摩擦係数	$\mu = 0.60$
鉛直地盤反力度	$q = 120.9 \text{ kN/m}^2$

- B: かごくん設計上の底幅( $= 0.8m, 1.25m$ )
- ※1. 背面が安定した地山であることを条件とする。
  - ※2. 設計条件や現地状況が設計と異なる場合は、発注者と協議を実施したのちに設計変更を含め検討を行うこと。
  - ※3. 地盤の支持力が鉛直地盤反力度を満足するよう施工前に確認すること。不足時は適切な地盤改良等を選定し、所定の支持力を確認の上施工すること。
  - ※4. 背面の盛土及び砕石は適切に締固めを行うこと。
  - ※5. 果水地形で施工時の流水が著しい場合は、転流工などの排水処理を行った上で施工を行うこと。また、設計条件とは異なる湧水や、流水が確認された場合は、別途排水対策の検討を行うこと。
  - ※6. かごくんの下に空隙がある場合は砕石等で充填すること。



図名	縦断面図・標準断面図 1/1
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事3号
縮尺	図示



7.0  
GH=304.42  
FH=-0.14

L(S3)=0.2

L(BA)=6.0

S3=0.5  
BA=4.7

0.0  
GH=304.79  
FH=±0.00

L(S3)=0.2

L(BA)=0.1

S3=0.1  
BA=0.0

BC. 1(15.1)  
GH=303.96  
FH=-0.27

L(S3)=0.6

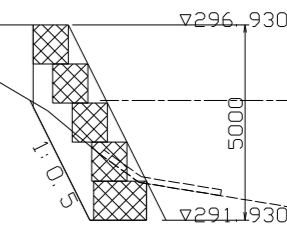
L(BA)=10.5

S3=1.3  
BA=32.1

曲線区幅

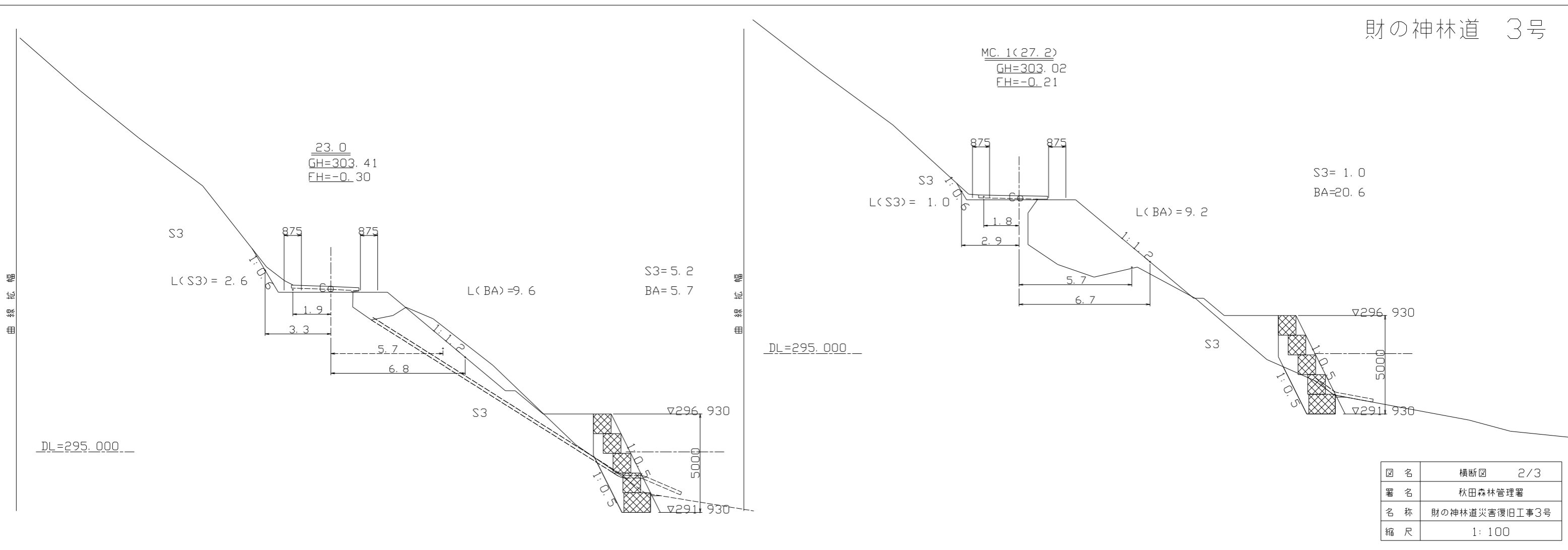
DL=295.000

7.1 右 R=15  
両側区幅

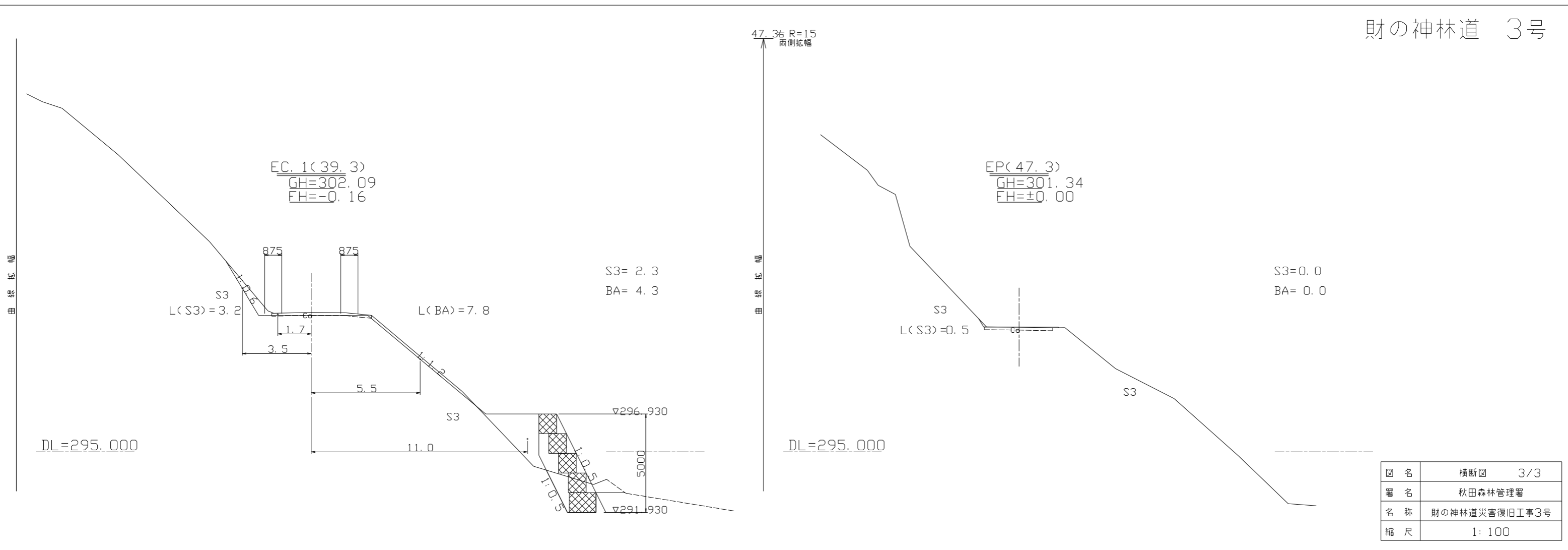


図名	横断面 1/3
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事3号
縮尺	1:100

財の神林道 3号

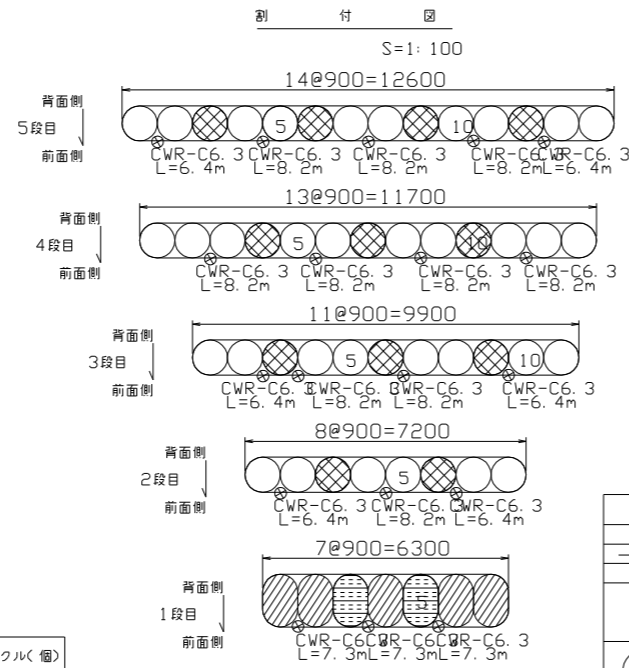
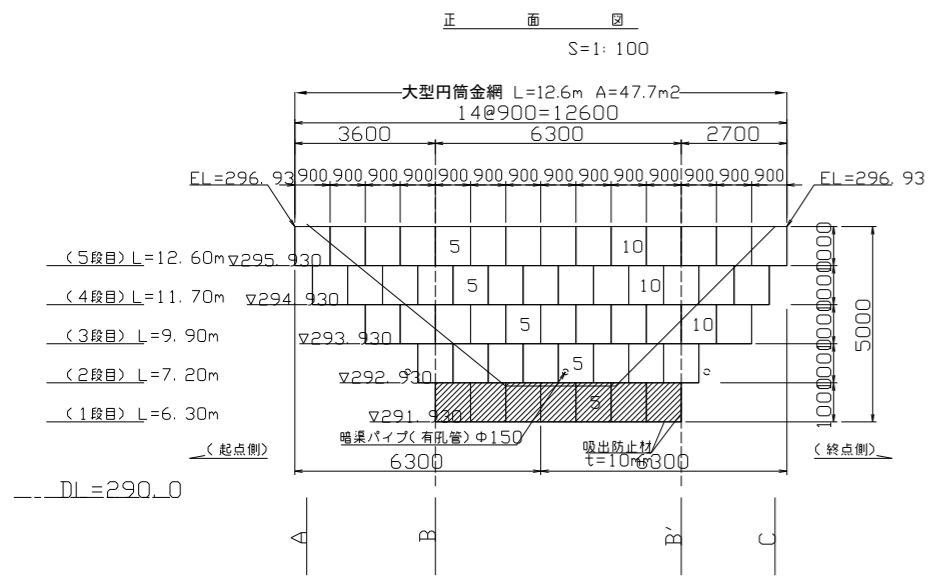


図名	横断面 2/3
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事3号
縮尺	1:100



図名	横断面 3/3
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事3号
縮尺	1:100

大型円筒金網工 詳細図  
かご丸くん (0.90×1.00)

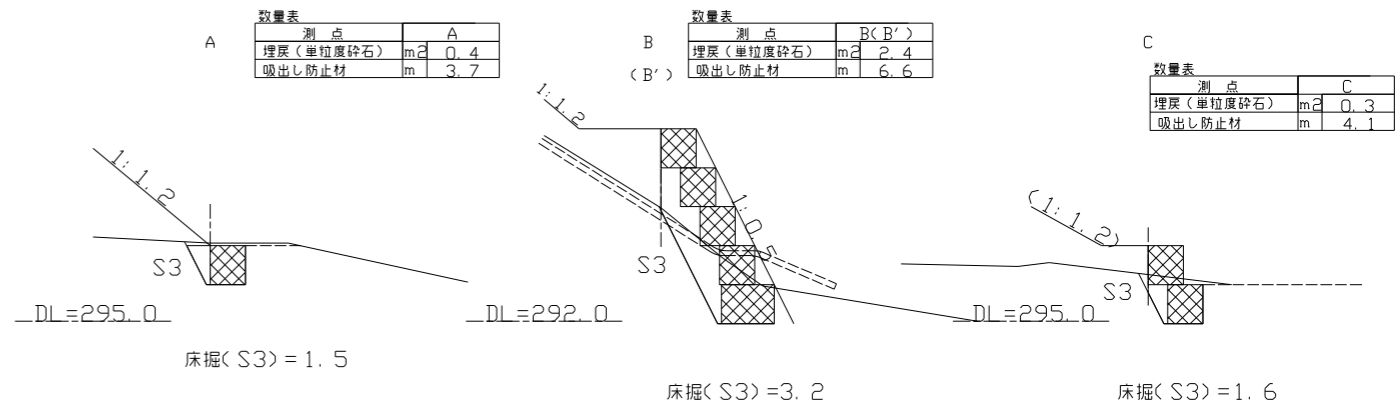


名称	正面面積 (m <sup>2</sup> )	大型円筒金網(組) 鉄線径φ6mm H=1.00m	大型円筒金網小判型(組) 鉄線径φ6mm H=1.00m	上蓋(組) φ0.9m	チェーン(CWR-C6.3)(m)	ターンバックル(個)
5	12.6	14	0	14	8.2×3+6.4×2=37.4	5
4	11.7	13	0	13	8.2×4=32.8	4
3	9.9	11	0	11	8.2×2+6.4×2=29.2	4
2	7.2	8	0	8	8.2×1+6.4×2=21.0	3
1	6.3	0	7	0	7.3×3=21.9	3
合計	47.7	46	7	46	142.3	19

記号	名称
□	大型円筒金網 鉄線径φ6mm H=1.00m
▨	大型円筒金網 小判型 H=1.00m

記号	名称
—	チェーン(CWR-C6.3)
⊗	ターンバックル(CWR-16)
○	大型円筒金網 鉄線径φ6mm H=1.00m
▨	大型円筒金網 小判型 H=1.00m
⊗	チェーン重埋部
▨	チェーン重埋部(小判型)

横断図  
S=1:100

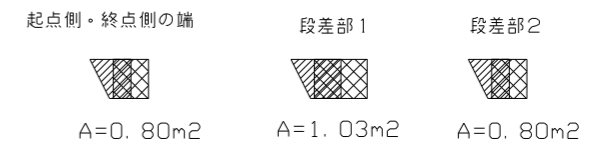


測点	A
埋戻(単位度砕石)	m <sup>2</sup> 0.4
吸出し防止材	m 3.7

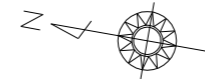
測点	B (B')
埋戻(単位度砕石)	m <sup>2</sup> 2.4
吸出し防止材	m 6.6

測点	C
埋戻(単位度砕石)	m <sup>2</sup> 0.3
吸出し防止材	m 4.1

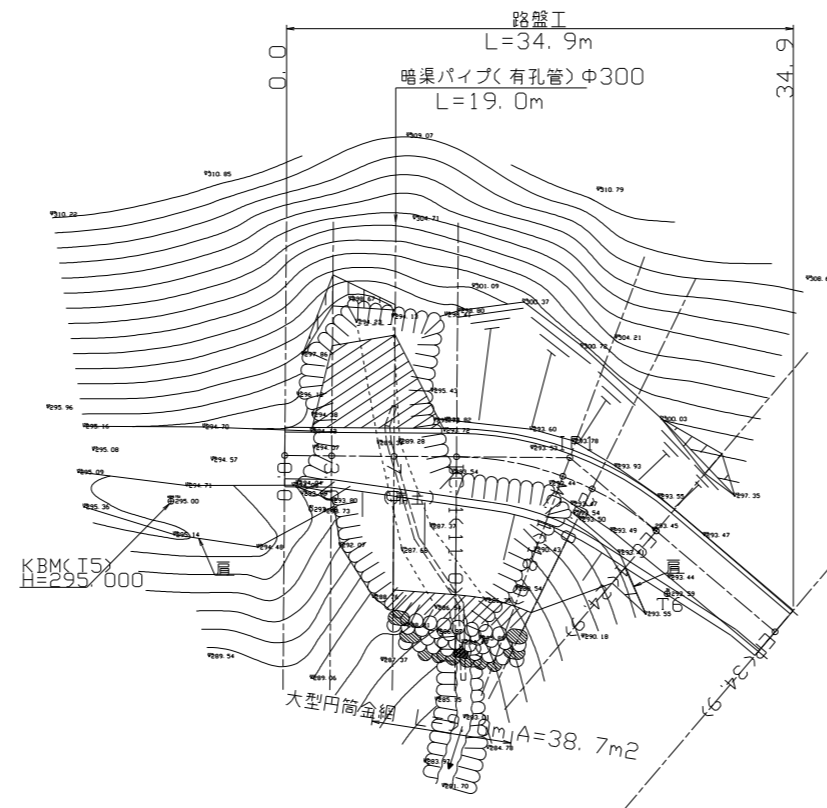
吸出し防止材 側面設置箇所



図名	大型円筒金網工詳細図
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事3号
縮尺	図示



点名	X座標	Y座標
K1	600.000	200.000
K2	617.721	203.507



曲線諸数値表

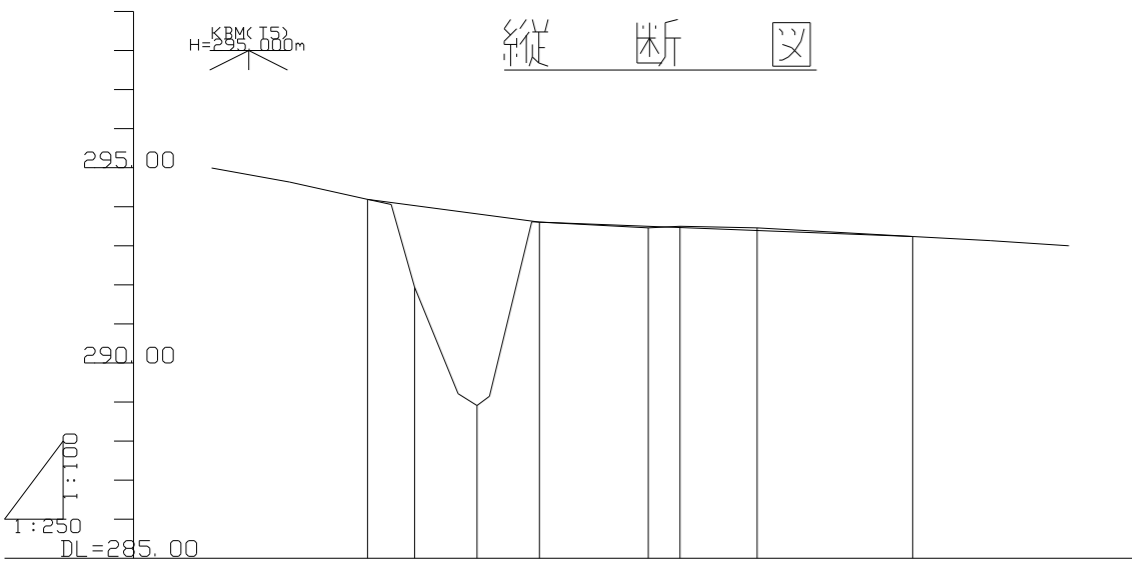
IP NO	D	A	A		R	T	LS	LC	L	B	C	M	C	E	C	IP	D	
			L	R														
0	0																	
1	18.3	219°54'		39°54'	20	7.3	1.3	13.9	11.0	18.0	24.9	18.3				18.3		
E.P.	17.3															34.9		

凡例

計測線	交差点	起点・終点	既設道路	新設	河川・湧流	広葉樹林	水灌漑	単工	法面	永久橋								

図名	平面図 1/1
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事4号
縮尺	1:250

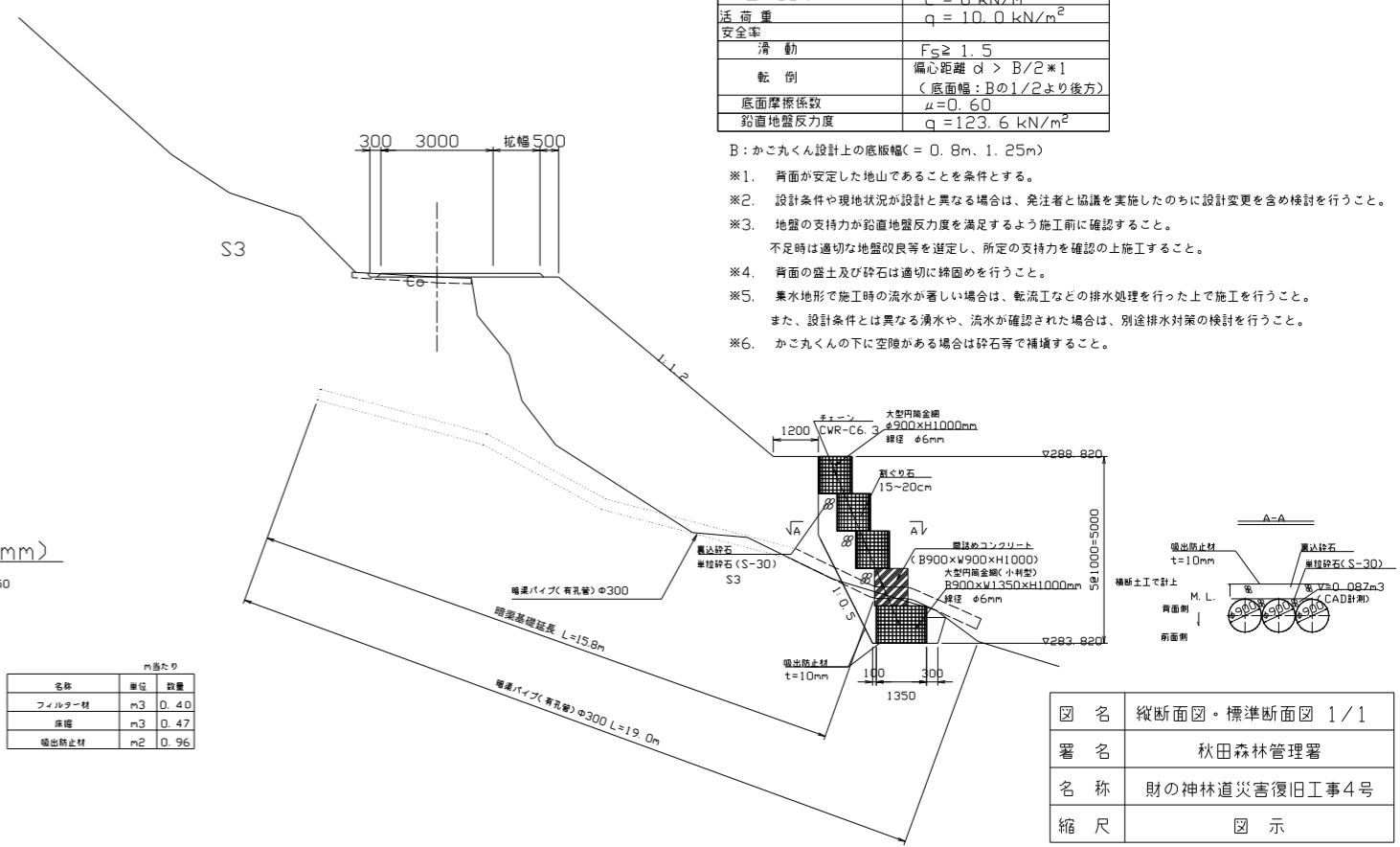
縦断面図



勾配	配	294.19	293.61	293.24
盛土高		2.09	4.91	0.04
切土高				0.03
計画高		294.19	293.61	293.24
地盤高		294.19	293.61	293.24
追加距離		0.0	7.0	34.9
単距離		0.0	4.0	10.0
測点		0.0	7.0	34.9
平面線形図		IP. 1 R=20		

名称	財の神林道<4号>
種類	自動車2級
延長	L=34.9m
全幅員	W=3.80m
勾配	最急 5.27%
	最緩 1.55%
配平均	3.41%
最小半径	R=20m

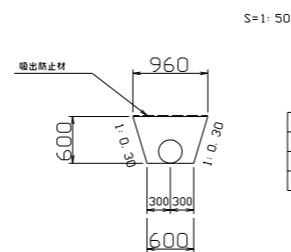
標準断面図  
S = 1: 100



設計条件	
背面土土質定数	
土の単位体積重量	$\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$
土の内部摩擦角	$\phi = 35^\circ$
土の粘着力	$c = 0 \text{ kN/m}^2$
活荷重	$q = 10.0 \text{ kN/m}^2$
安全率	$F_s \geq 1.5$
滑動	偏心距離 $cd > B/2 * 1$ (底面幅: Bの1/2より後方)
転倒	$\mu = 0.60$
底面摩擦係数	
鉛直地盤反力度	$q = 123.6 \text{ kN/m}^2$

- B: かこ丸くん設計上の底幅( $= 0.8m, 1.25m$ )
- ※1. 背面が安定した地山であることを条件とする。
  - ※2. 設計条件や現地状況が設計と異なる場合は、発注者と協議を実施したのちに設計変更を含め検討を行うこと。
  - ※3. 地盤の支持力が鉛直地盤反力度を満足するよう施工前に確認すること。不足時は適切な地盤改良等を選定し、所定の支持力を確認の上施工すること。
  - ※4. 背面の盛土及び砕石は適切に締固めを行うこと。
  - ※5. 集水地形で施工時の流水が著しい場合は、転流工などの排水処理を行った上で施工を行うこと。また、設計条件とは異なる湧水や、流水が確認された場合は、別途排水対策の検討を行うこと。
  - ※6. かこ丸くんの下に空隙がある場合は砕石等で充填すること。

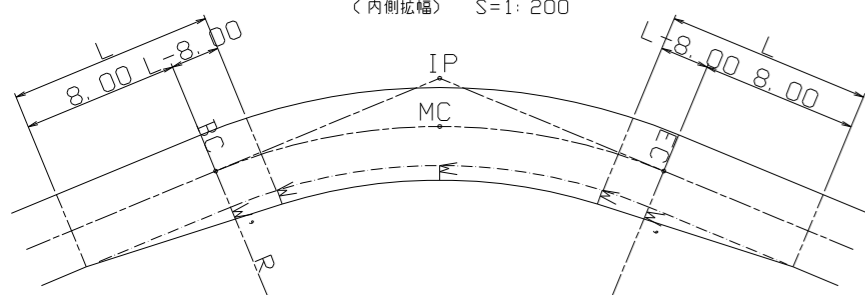
暗渠排水材(有孔管 $\Phi=300\text{mm}$ )



内量たり		
名称	単位	数量
フィルター材	m <sup>2</sup>	0.40
床層	m <sup>3</sup>	0.47
吐出防止材	m <sup>2</sup>	0.96

図名	縦断面図・標準断面図 1/1
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事4号
縮尺	図示

曲線部拡幅図  
(内側拡幅) S=1:200



区分	R	W	W'	L	L-8.00
2級	12	0.000	2.00	10.024	2.024
	13	0.000	1.78	10.24	2.24
	14	0.000	1.76	10.43	2.43
	15	0.000	1.54	10.55	2.55
	16	0.000	1.33	10.66	2.66
	17	0.000	1.32	10.66	2.66
	18	0.000	1.30	10.66	2.66
	19	0.000	1.10	10.66	2.66
	20	0.000	1.09	10.66	2.66
	21	0.000	1.09	10.66	2.66
	22	0.000	1.07	10.66	2.66
	23	0.000	0.87	10.46	2.46
	24	0.000	0.86	10.55	2.55
	25	0.000	0.86	10.66	2.66
	26	0.000	0.86	10.74	2.74
	27	0.000	0.86	10.88	2.88
	28	0.000	0.85	10.99	2.99
	29	0.000	0.66	10.00	2.00
	30	0.000	0.66	10.00	2.00
	31	0.000	0.66	10.00	2.00
	32	0.000	0.65	10.00	2.00
33	0.000	0.65	10.00	2.00	
34	0.000	0.45	9.99	1.99	
35	0.000	0.45	9.99	1.99	
36	0.000	0.45	10.00	2.00	
37	0.000	0.45	10.00	2.00	
38	0.000	0.44	10.00	2.00	
39	0.000	0.44	10.00	2.00	
40	0.000	0.44	10.00	2.00	
41	0.000	0.44	10.00	2.00	
42	0.000	0.44	10.00	2.00	
43	0.000	0.44	10.00	2.00	
44	0.000	0.44	10.00	2.00	
45	0.000	0.23	9.99	1.99	
46	0.000	0.23	9.99	1.99	
47	0.000	0.23	10.00	2.00	
48	0.000	0.23	10.00	2.00	
49	0.000	0.23	10.00	2.00	
50	0.000	0.23	9.99	1.99	

図名	曲線部拡幅図(内側拡幅)
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事4号
縮尺	図示

0.0  
 GH=294.19  
 FH=±0.00

3.0  
 GH=291.94  
 FH=+2.09

S3  
 L(S3)=0.2

S3=0.1  
 BA=0.1

L(S3)=3.9

S3

S3

L(BA)=0.4

S3=1.6  
 BA=14.1

DL=285.000

DL=285.000

R=20 内側拡幅

曲線拡幅

1:0.6

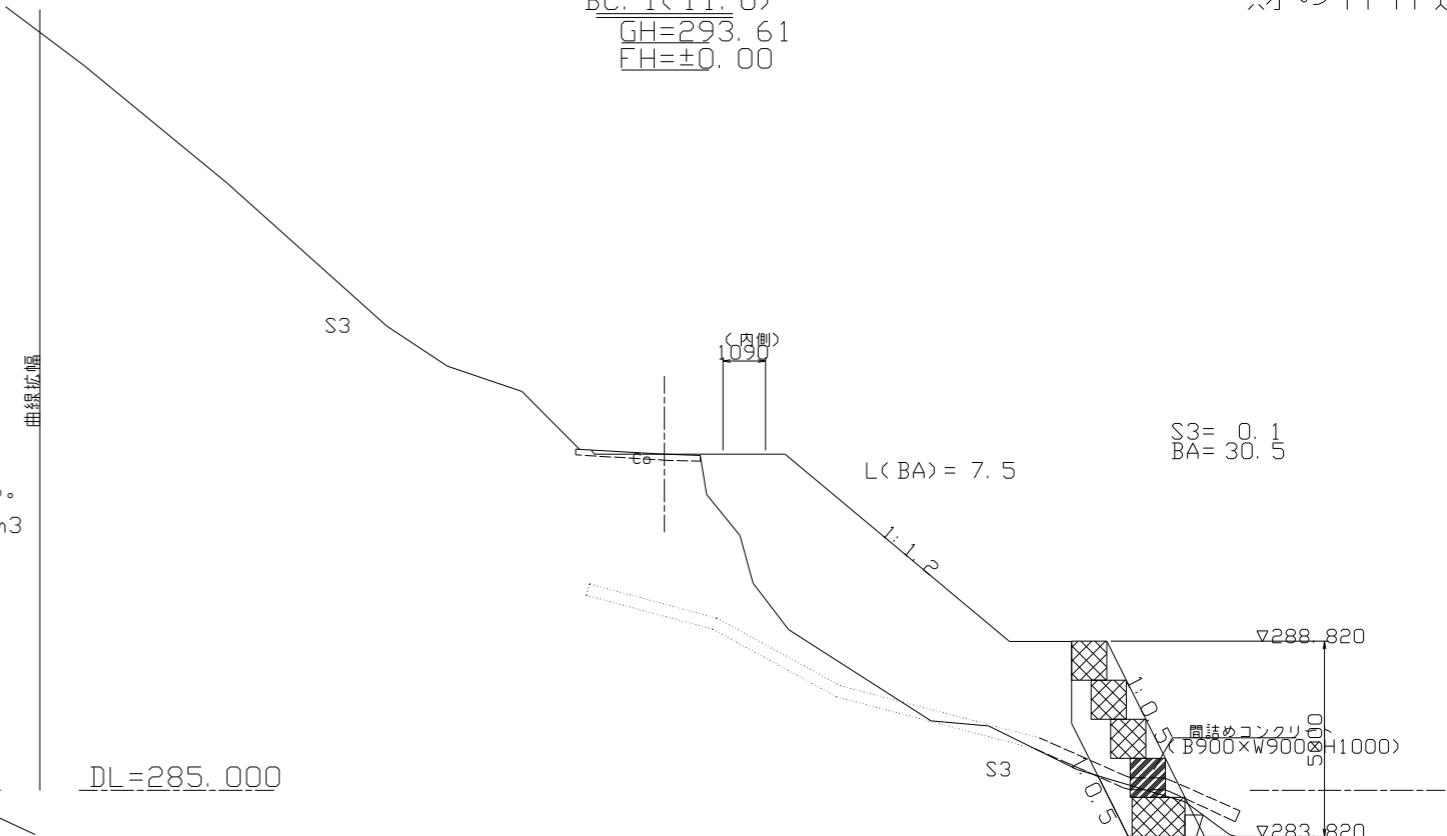
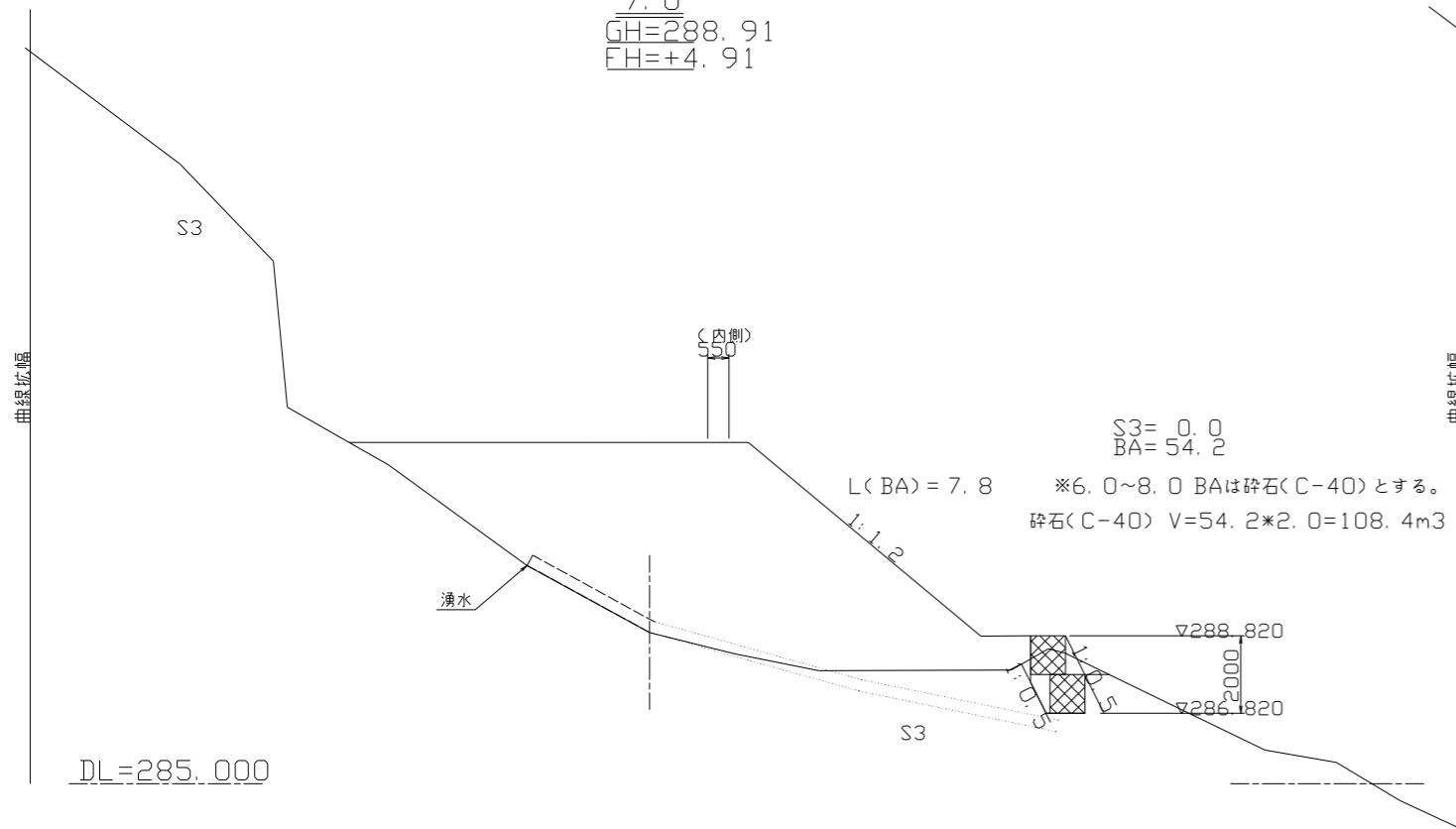
1:1.0

図名	横断面 1/4
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事4号
縮尺	1:100

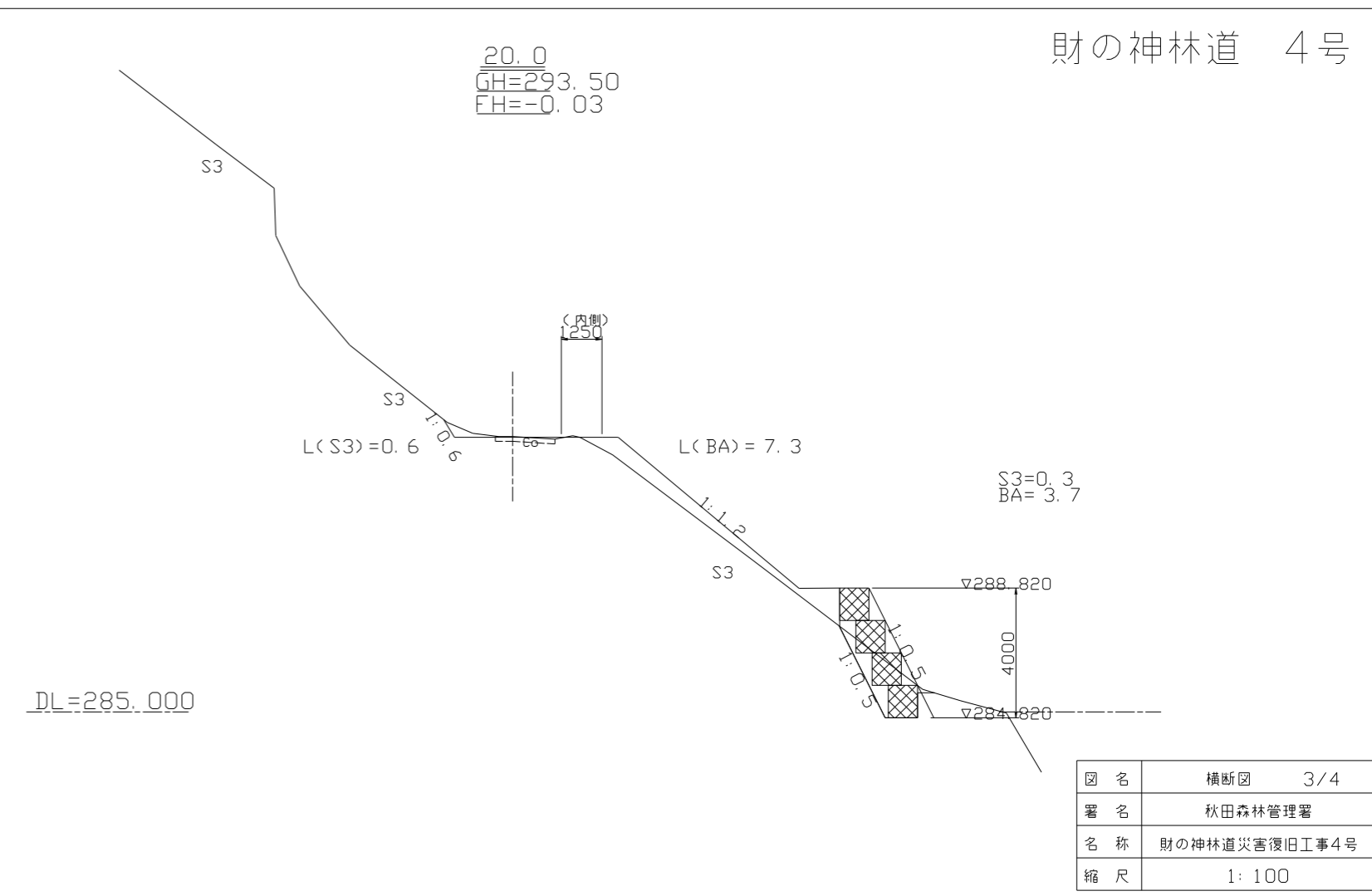
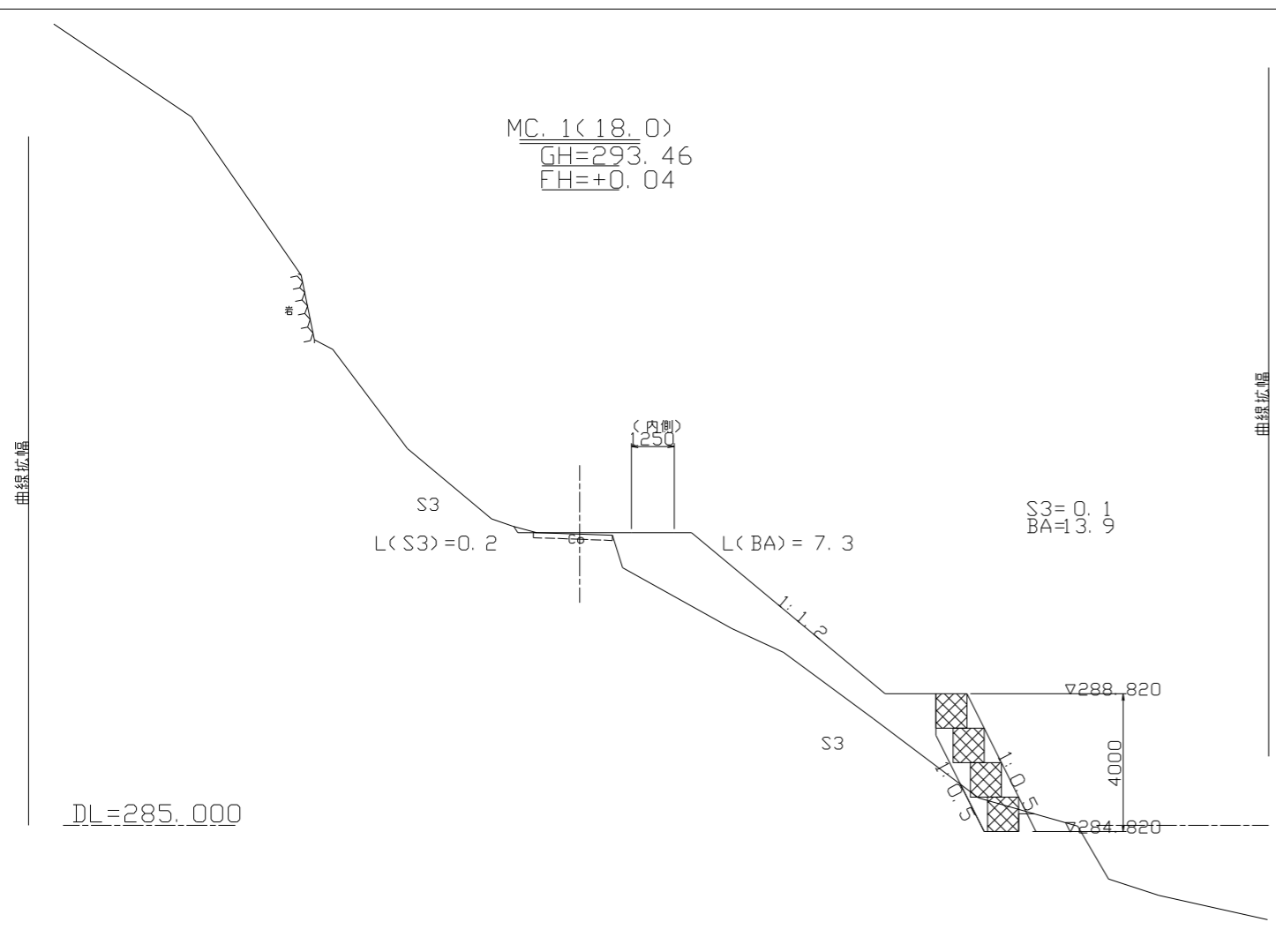


7.0  
GH=288.91  
FH=+4.91

BC. 1<11.0>  
GH=293.61  
FH=±0.00



図名	横断面	2/4
署名	秋田森林管理署	
名称	財の神林道災害復旧工事4号	
縮尺	1:100	



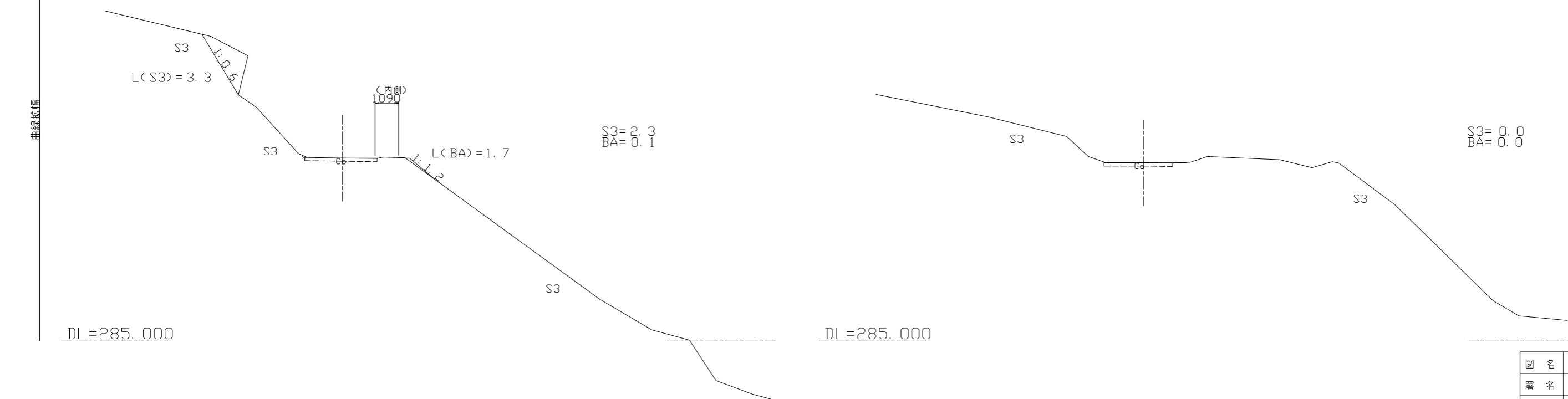
図名	横断面 3/4
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事4号
縮尺	1:100

財の神林道 4号

R=20 内側拡幅

EC(24.9)  
GH=293.46  
FH=-0.07

EP(34.9)  
GH=293.24  
FH=±0.00



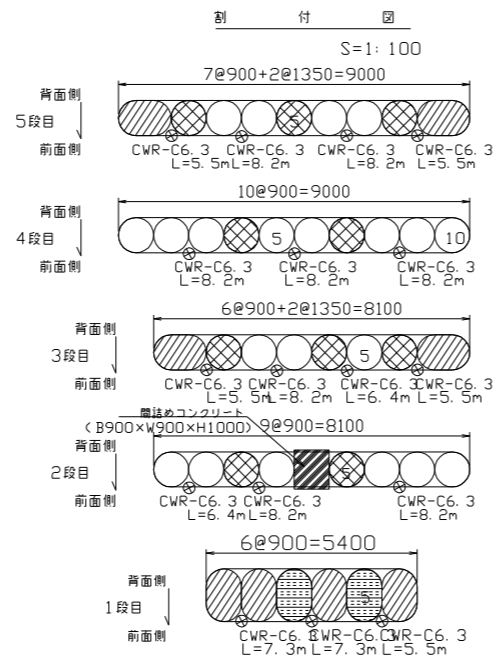
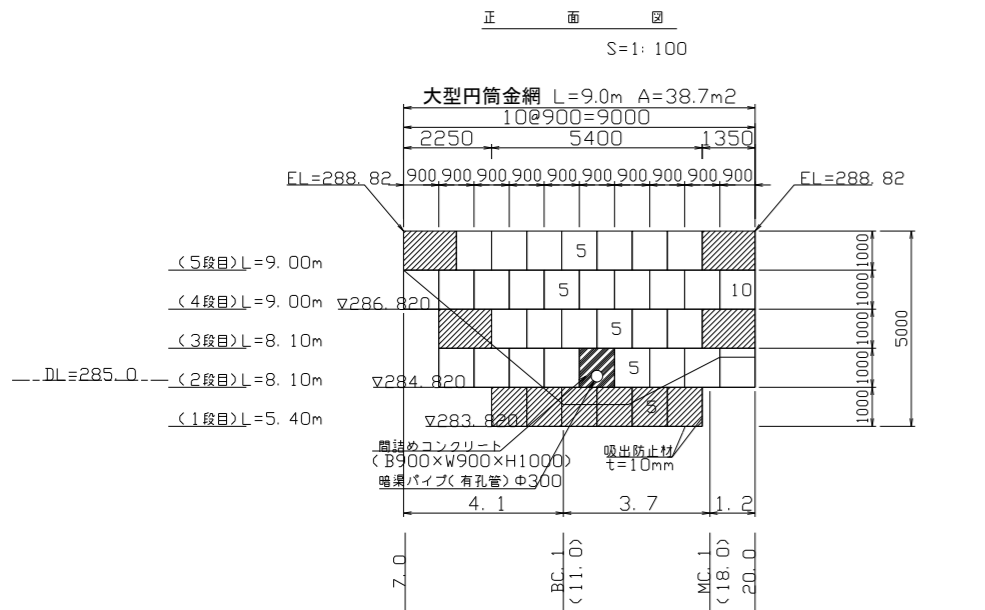
DL=285.000

DL=285.000

図名	横断面 4/4
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事4号
縮尺	1:100

# 大型円筒金網工 詳細図

かご丸くん(0.90×1.00)



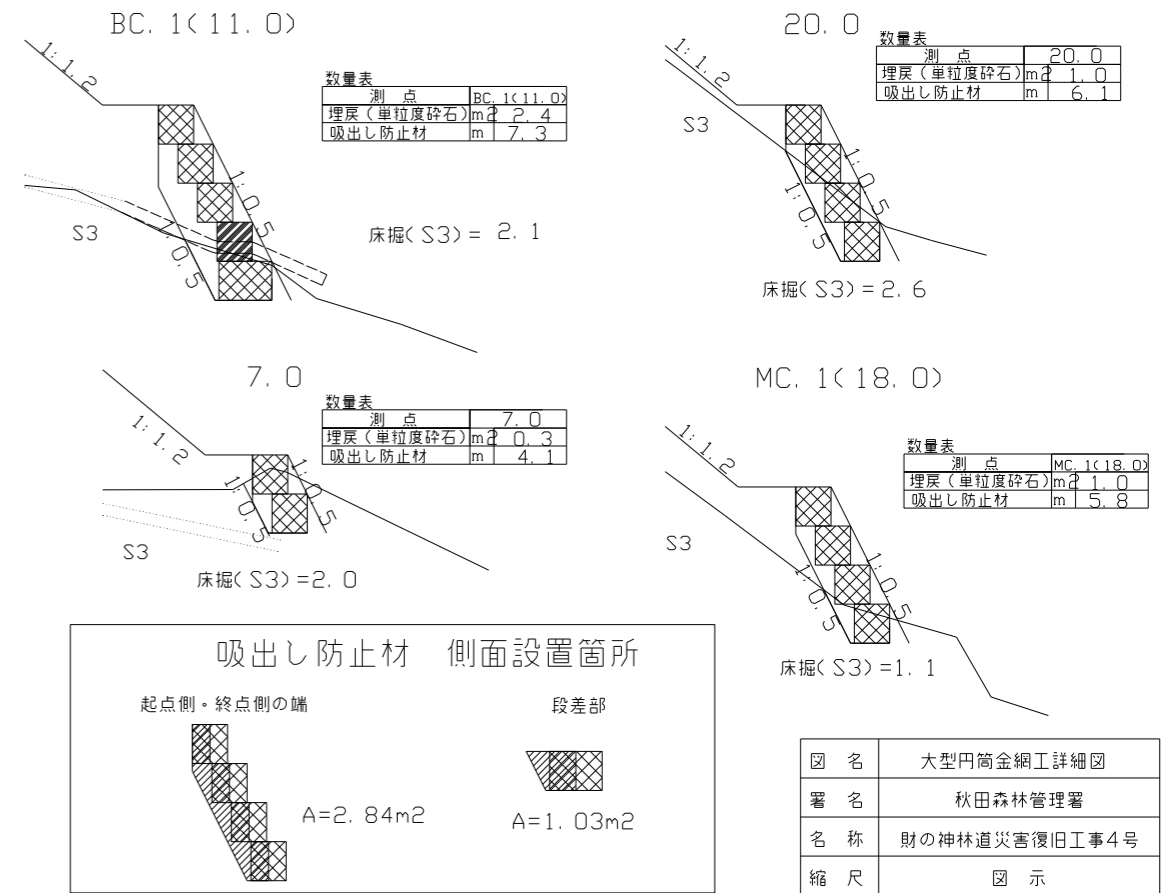
名称	正面面積 (m²)	大型円筒金網(組) 鉄線径φ6mm H=1.00m	大型円筒金網小判型(組) 鉄線径φ6mm H=1.00m	上蓋(組) 0.9m	チェーン(CWR-C6.3)(m)	ターンバックル(個)
5	9.0	7	2	7	8.2×2+5.5×2=27.4	4
4	9.0	10	0	10	8.2×3=24.6	3
3	8.1	6	2	6	8.2×1+6.4×1+5.5×2=25.6	4
2	7.2	8	0	8	8.2×2+6.4×1=22.8	3
1	5.4	0	6	0	7.3×2+5.5×1=20.1	3
合計	38.7	31	10	31	120.5	17

記号	名称
□	大型円筒金網 鉄線径φ6mm H=1.00m
▨	大型円筒金網 小判型 H=1.00m

記号	名称
○	チェーン(CWR-C6.3)
⊗	ターンバックル(CWR-16)
○	大型円筒金網 鉄線径φ6mm H=1.00m
▨	チェーン重複部
▩	チェーン重複部(小判型)

# 横断図

S=1:100



測点	BC.1(11.0)
埋戻(単粒度砕石)	m² 2.4
吸出し防止材	m 7.3

測点	MC.1(18.0)
埋戻(単粒度砕石)	m² 1.0
吸出し防止材	m 6.1

測点	7.0
埋戻(単粒度砕石)	m² 0.3
吸出し防止材	m 4.1

測点	MC.1(18.0)
埋戻(単粒度砕石)	m² 1.0
吸出し防止材	m 5.8

図名	大型円筒金網工詳細図
署名	秋田森林管理署
名称	財の神林道災害復旧工事4号
縮尺	図示